

平成 2 1 年度

医 務 行 政 の 概 要

平成 2 2 年 3 月

富山県厚生部医務課

目 次

I 行政機構	1
1. 組織概要	1
2. 医務課分掌事務	2
3. 附属機関等	3
4. 職員の状況	4
II 予 算	5
1. 厚生部予算概要	5
2. 医務課予算概要	8
III 事業概要	11
1. 新潟県医療計画	11
2. 医療圏と基準病床数	12
3. 地域保健医療計画	13
4. 医療機関等の指導	14
5. へき地医療対策	15
6. 救急医療対策	17
7. 公的医療機関	25
8. 医療従事者確保対策	28
9. 看護師等養成所	34
10. 保健師等現任訓練事業	36
11. 資格試験及び免許	37
12. 市町村保健センター	38
13. 地域保健活動推進指導	40
14. 臓器移植等推進対策	41
15. 保健統計	43
16. 自治医科大学	48

IV 出先機関	49
1. 衛生研究所	49
2. 総合衛生学院	51
3. 中央病院	54
V 医療の動向	59
1. 医療機関	59
2. 医療従事者	64
VI 保健統計主要指標	75
VII 医務課関係団体一覧	80
VIII 医務課関係表彰一覧	83

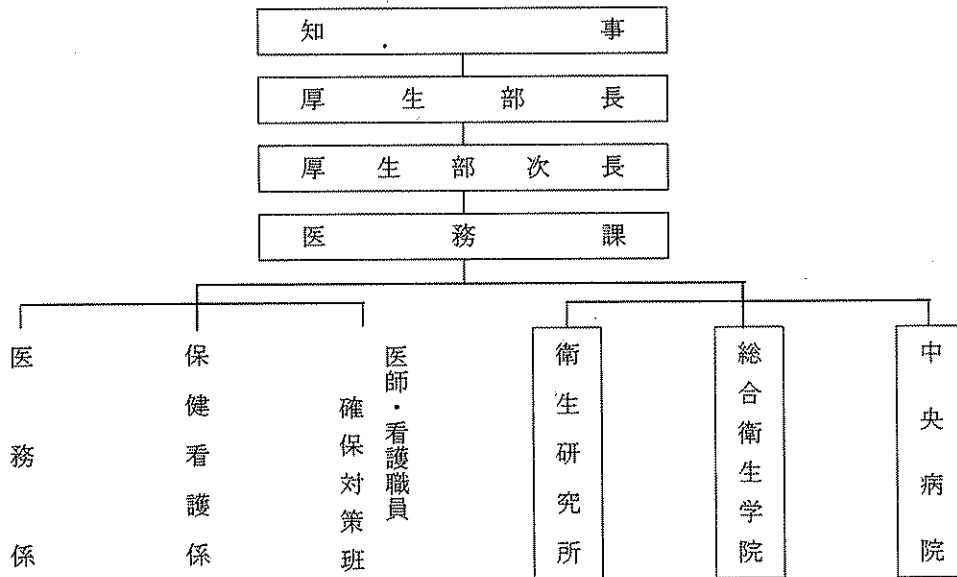
I 行政機構

1. 組織概要

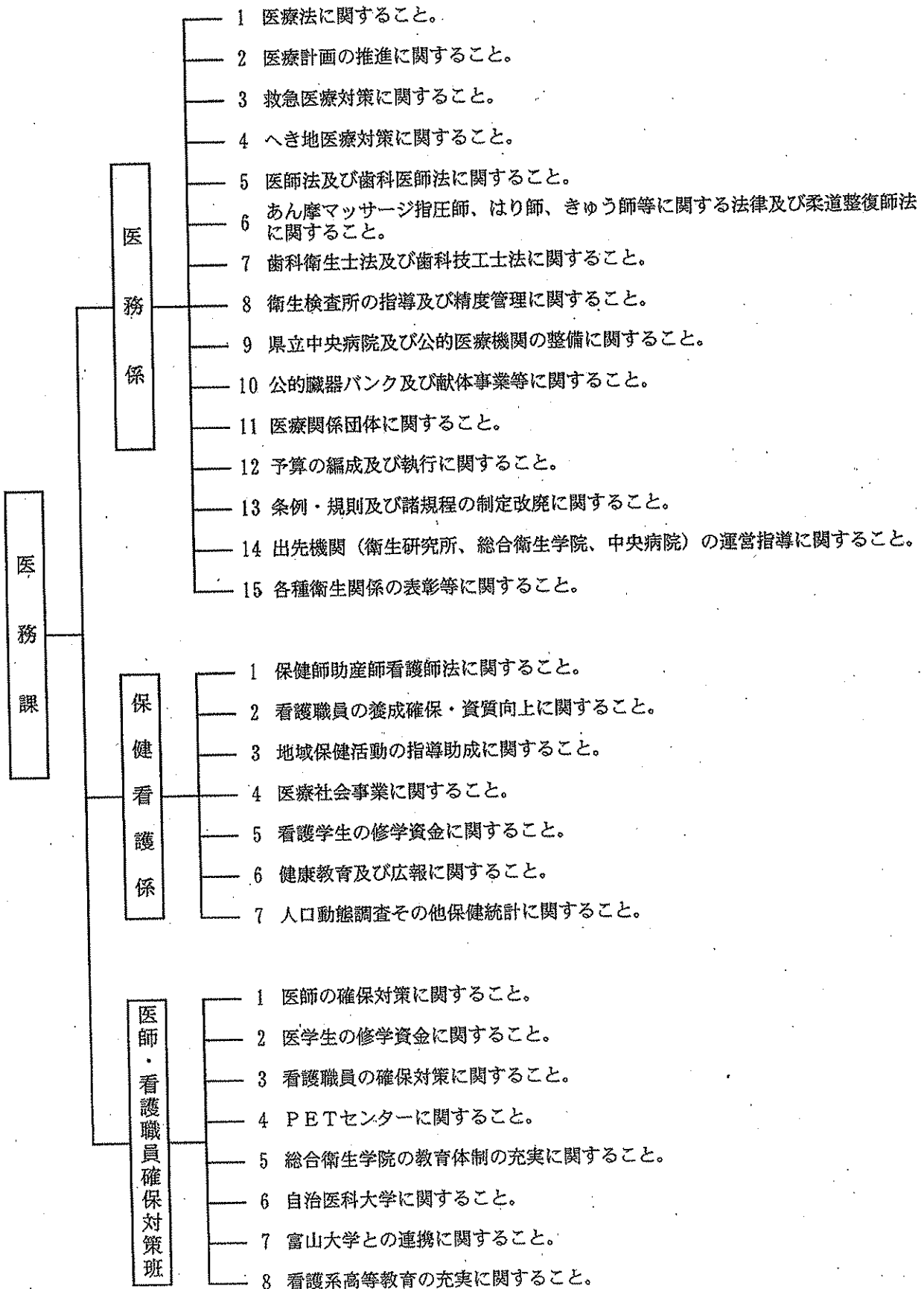
(1) 沿革

昭和22年10月	部設置条例により、衛生部設置と同時に医務課を新設（10保健所体制）
昭和24年11月	本庁に係制が施行され、庶務係・医務係・衛生統計係の3係設置
（昭和26年4月	富山県立中央病院と同病院附属高等看護学院を開設）
昭和29年6月	衛生統計係を廃し、母子衛生係を新設
昭和30年10月	部設置条例の改正により民生部と衛生部を統合し、厚生部となる
（昭和35年4月	富山県衛生研究所を新設）
昭和36年4月	衛生統計係を再設置
昭和38年4月	母子衛生係を公衆衛生課に移管
（昭和39年4月	県立保健婦専門学院を新設）
（昭和46年4月	中央病院附属高等看護学院と保健婦専門学院を統合し、総合衛生学院に改称）
昭和47年4月	看護係を新設
昭和53年4月	看護係を保健看護係に改称（保険課所管事務のうち市町村の国保保健婦の指導業務を医務課へ移管）
	庶務係・医務係・保健看護係及び衛生統計係の4係となる
（昭和55年4月	黒部保健所・朝日支所、小杉保健所・新湊支所を本所に統合し、支所を廃止）
昭和60年4月	保健看護係と衛生統計係を統合し、保健看護係となる
昭和61年4月	庶務係を管理係に名称変更
平成8年4月	富山保健所の廃止（大山町→上市保健所所管、大沢野町→八尾保健所所管となる）
平成10年7月	9の県立保健所を4保健所5支所体制に再編
平成14年7月	4保健所と3社会福祉事務所を統合し、厚生企画課の出先機関として4厚生センターを設置
平成19年4月	管理係を廃し、医師・看護職員確保対策班を設置

(2) 組織



2. 医務課分掌事務



3. 附属機関等

(平成21年4月現在)

名 称	設置年月	設 置 根 拠	構 成 (会長又は委員長名)	審 議 事 項	
富 山 県 医 療 審 議 会	昭和61年 12月	医療法第71条の2	23人 会長 福田 孜	知事の諮問に応じ、医療を提供する体制の確保に関する重要事項を調査審議	
医療法人部会	〃	医療法施行令第5条の21 富山県医療審議会運営要綱	7人	医療法人に関する審議	
富 山 県 医 療 対 策 協 議 会	平成19年 4月	富山県医療対策協議会設置要綱	25人 会長 福田 孜	医療従事者の確保その他県において必要とされる医療の確保に関する事項を検討	
富 山 県 准 看 護 師 員 試 験 委 員 会	昭和28年 12月	保健師助産師看護師法 富山県准看護師試験委員条例	10人以内	知事が行う准看護師試験の実施に関する事務	
富 山 県 歯 科 技 工 士 試 験 委 員 会	昭和57年 12月	富山県歯科技工士国家試験委員会設置要綱	9人 会長 厚生部長	歯科技工士国家試験の施行に関する事務	
新 川 地 域 医 療 推 進 対 策 協 議 会	協議会 平成13年 7月	協議会 地域医療推進対策協議会設置要綱	23人 会長 池田 一郎	(2次医療圏毎に設置) 協議会 地域保健医療計画策定及び変更、医療機関相互の連携、保健・医療・福祉の有機的連携の確保、医療機関の整備、地域保健医療計画の進行管理に関する審議	
6 部 会			24人 会長 馬瀬 大助		
富 山 地 域 医 療 推 進 対 策 協 議 会			部会 地域医療推進対策協議会設置要綱		24人 会長 長谷田 祐一
6 部 会					部会 (6部会)
高 岡 地 域 医 療 推 進 対 策 協 議 会					部会 (6部会) 地域救急部会、がん、脳卒中・在宅医療、急性心筋梗塞、糖尿病、周産期・小児医療部会
6 部 会					
砺 波 地 域 医 療 推 進 対 策 協 議 会	平成20年 8月 (その他 5部会)	地域医療推進対策協議会部会運営要領	22人 会長 高橋 卓朗		
富 山 県 衛 生 検 査 所 精 度 管 理 専 門 委 員 会	昭和63年 3月	富山県衛生検査所精度管理専門委員設置要綱	4人	衛生検査所の精度管理の向上に関する業務	

4. 職員の状況

(平成21年4月1日現在)

課又は機関名	現 員	職 員 の 内 訳			備 考
		事務職	技術職	技能労務職	
医 務 課	18 人	13 人	5 人	— 人	
(計)	19	13	6	—	
衛 生 研 究 所	36	4	32	—	
総 合 衛 生 学 院	26	2	24	—	
中 央 病 院	939	42	860	37	
合 計	1,020	61	922	37	

Ⅱ 予 算

1. 平成21年度厚生部予算の概要

(一般会計)

(単位:千円、%)

区 分	平成21年度		平成20年度		対前年度 伸 率	備 考
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
厚 生 部	64,784,973	12.18 (100.00)	64,538,857	12.26 (100.00)	0.38	
民生費	40,432,040	7.60 (62.41)	40,770,771	7.75 (63.17)	△ 0.83	
衛生費	24,294,816	4.57 (37.50)	23,703,730	4.50 (36.73)	2.49	
総務費	58,117	0.01 (0.09)	64,356	0.01 (0.10)	△ 9.69	
県 予 算 額	531,737,256	100.00	526,368,114	98.99	1.02	

※括弧内の数値は、厚生部予算に占める構成比

(特別会計)

(単位:千円)

区 分	21年度 当初予算額	20年度 当初予算額	比較増減	対前年度 伸 率	備 考
母子寡婦福祉資 金特別会計	109,653	100,489	9,164	9.12	

(病院事業会計)

(単位:千円)

区 分	21年度 当初予算額	20年度 当初予算額	比較増減	対前年度 伸 率	備 考
収益的支出	19,537,486	19,304,700	232,786	1.21	
資本的支出	2,481,254	3,914,331	△ 1,433,077	△ 36.61	
合 計	22,018,740	23,219,031	△ 1,200,291	△ 5.17	

厚生部施策の体系図

一般会計	55,735,368 千円	(但し、給与費 9,049,605千円を除く)
特別会計	109,653 千円	
中央病院事業会計	22,018,740 千円	

《厚生部重点施策 52施策》

活力とやま

一般会計 554,094 千円

産学官連携の推進による新技術・新商品の開発 89,898 千円

中小企業の振興 452,131 千円

- (業業経営改善資質向上費)
- (貿易宣伝対策費)
- (配置業業等構造改善検討事業費)

農業生産の振興 12,065 千円

未来とやま

一般会計 8,957,180 千円
特別会計 109,653 千円

子育ての支援 8,796,010 千円

- (家庭児童福祉対策費)
- (子育て支援推進事業費)
- (特別保育事業費)
- (安心こども基金推進事業費)
- (児童手当費)
- (母子保健指導推進費)
- (市町村母子保健事業振興費)
- (すこやかな子供を生み育てる特別対策費)
- (出会い促進事業費)

家庭や地域における健やかな子どもの育成 13,053 千円

大学教育・学術研究・科学技術の振興 41,439 千円

男女共同参画の推進 32,601 千円

若者や中高年世代の活躍の場の拡大 4,455 千円

- (若者元気創造事業費)

人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成 69,622 千円

安心とやま

一般会計 46,224,094 千円
中央病院事業会計 22,018,740 千円

医療の充実	42,425,736 千円	(地域連携促進事業費) (新病棟建設事業費) (7対1看護体制導入事業費) (後期高齢者医療助成費) (国民健康保険制度安定化事業費) (国民健康保険調整交付金) (公的病院等振興整備対策費) (地域医療推進対策費) (救急医療施設等運営費) (医師等確保総合対策事業費) (看護職員確保総合対策事業費) (看護師等養成所指導助成費) (医薬品適正使用推進費) (医薬品品質向上対策費)
健康づくりの推進	2,580,468 千円	(健康づくり県民総ぐるみ運動費) (特定健康診査・特定保健指導費) (成人保健対策費) (がん対策費) (歯科保健対策費) (感染症対策費) (肝炎対策費) (自殺防止総合対策事業費) (うつ克服協働事業費) (イタイイタイ病総合対策費)
食の安全確保と食育の推進	83,703 千円	(食品安全対策費)
地域総合福祉の推進	2,525,159 千円	(地域総合福祉推進事業費) (健康・福祉人材センター運営事業費) (介護サービス支援ステーション運営事業費)
高齢者福祉の充実	14,741,188 千円	(介護保険制度費) (在宅福祉対策事業費) (認知症高齢者総合支援対策事業費) (老人福祉施設整備費)
障害者福祉の充実	5,613,968 千円	(障害福祉管理費) (自立支援給付費) (障害者自立支援法円滑施行特別対策事業費) (地域生活支援事業費) (障害者地域移行推進事業費) (発達障害者支援事業費)
自然環境の保全	1,028 千円	
水資源の保全と活用	38,570 千円	
防災・危機管理体制の充実	11,397 千円	
防犯対策の推進による安全なまちづくり	3,903 千円	
生活の安全の確保	217,714 千円	(医薬品等安全対策費)

2. 医務課予算概要

(単位：千円)

事業名	平成 ⑳ 年度 当初予算額	平成 ㉑ 年度 当初予算額	平成21年度当初予算額 財 源 内 訳			説 明
			国庫支出金	そ の 他	一般財源	
【保健統計調査費】	8,570	6,599	6,031	0	568	
保健統計調査費	8,570	6,599	委 6,031		568	各種衛生統計業務報告等から衛生業務全般の把握、人口動態調査の実施等
【衛生研究所費】	94,218	89,898	322	2,720	86,856	
衛生研究所費	71,569	68,823		手 2,720	66,103	衛生研究所の運営、維持管理
試験研究費	10,167	9,450			9,450	衛生研究所における一般的な試験研究
設備充実費	3,040	2,916			2,916	試験、研究及び検査用備品
感染症対策特別研究費	1,659	1,609			1,609	感染症対策研究
がん等特別研究費	7,783	7,100	負 322		6,778	がん予防及びびバイオ等研究
【医務総務費】	559,197	741,287	216,582	4,741	519,964	
医療審議会費	884	781			781	医療提供体制の確保に関する重要事項を調査審議
医療施設指導監督費	1,224	1,224			1,224	病院等の施設の許可及び管理運営の検査指導、衛生検査所の指導及び精度管理の向上
公的病院等振興整備対策費	56,876	57,098	補 28,548		28,550	公的病院等の施設・設備整備に対する助成
地域医療対策補助金	51,300	51,300			51,300	富山県医師会及び富山県歯科医師会に対する事業補助
へき地医療拠点病院運営費	51,005	42,943	補 21,436		21,507	へき地医療拠点病院運営費に対する助成

(単位：千円)

事業名	平成 20 年度 当初予算額	平成 21 年度 当初予算額	平成21年度当初予算額 財 源 内 訳			説 明
			国庫支出金	そ の 他	一般財源	
地域医療推進 対策費	13,322	13,385	補 3,523		9,862	地域医療計画及び病診連携の 推進
救急医療施設等 運営費	124,004	308,054	補 153,688		154,366	救急医療体制の運営費に対す る助成
休日等歯科診療 対策費	20,775	20,559	補 100		20,459	休日夜間及び心身障害者の歯科医 療委託、休日（昼間）の歯科救急 医療事業に対する助成
立山診療所運営費	2,012	2,000			2,000	立山診療所運営委託
医師等確保総合対 策事業費	188,078	194,326	補 1,200		193,126	医学生確保のための修学資金 貸与、県内就職推進、女性医 師職場復帰推進等
腎臓・角膜・骨髄 移植等推進対策費	9,430	10,016		1,350	8,666	献体運動の推進、献腎・献眼 等思想の普及啓発
医療情報システム 運営費	34,535	33,271	補 8,087		25,184	富山県救急医療情報システムの 運営委託
医療施設改善支援 事業費	2,920	2,420			2,420	医療施設の経営改善の支援
医務推進事業費	2,832	3,910		手 3,391	519	共通事務化経費
【保健師等指導 管理費】	850,526	384,561	65,637	61,812	257,112	
資格試験及び免許 業務費	1,023	803		手 2,045	△ 1,242	准看護師試験及び歯科技工士 試験の実施、保健師等の免許 登録事務
保健師等現任訓練 費	2,745	2,673			2,673	保健師等の資質向上を図るた めの教育・指導
看護職員確保総合 対策事業費	657,712	191,225	補 17,256	債 貸 32,588	141,381	看護職員就労促進及び総合衛 生学院改修
看護師等養成所指 導助成費	126,681	127,187	補 委 44,185 3,946		79,056	看護師養成所運営費等補助
地域保健活動推進 指導費	3,804	2,775	補 250	納 800	1,725	保健師等に対する指導、市町 村保健活動の支援
総合衛生学院費	58,561	59,898		使 手 25,200 1,179	33,519	保健師・助産師・看護師・養 護教諭の養成及び運営

(単位：千円)

事業名	平成 20 年度 当初予算額	平成 21 年度 当初予算額	平成21年度当初予算額 財 源 内 訳			説 明
			国庫支出金	そ の 他	一般財源	
【病院事業費】	2,186,772	2,103,259	0	0	2,103,259	
補助金	2,009,687	1,948,360			1,948,360	病院事業会計に対する補助
出資金	177,085	154,899			154,899	病院事業会計に対する出資
合 計	3,699,283	3,325,604	288,572	69,273	2,967,759	

Ⅲ 事業概要

※事業費は平成21年度現計予算額

1. 新富山県医療計画

医療を取り巻く環境の変化や新たな課題に対応するため、「新富山県医療計画」（平成11年10月21日策定、平成17年3月25日全面改定）を見直し、新たに4疾病5事業（※）及び在宅医療に係る医療連携体制に関する内容を加えた「新富山県医療計画（平成20年3月改定版）」を平成20年3月31日に公示した（富山県告示164号）。

※4疾病5事業

4疾病・・・がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病

5事業・・・救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療（小児救急を含む）

計画の体系

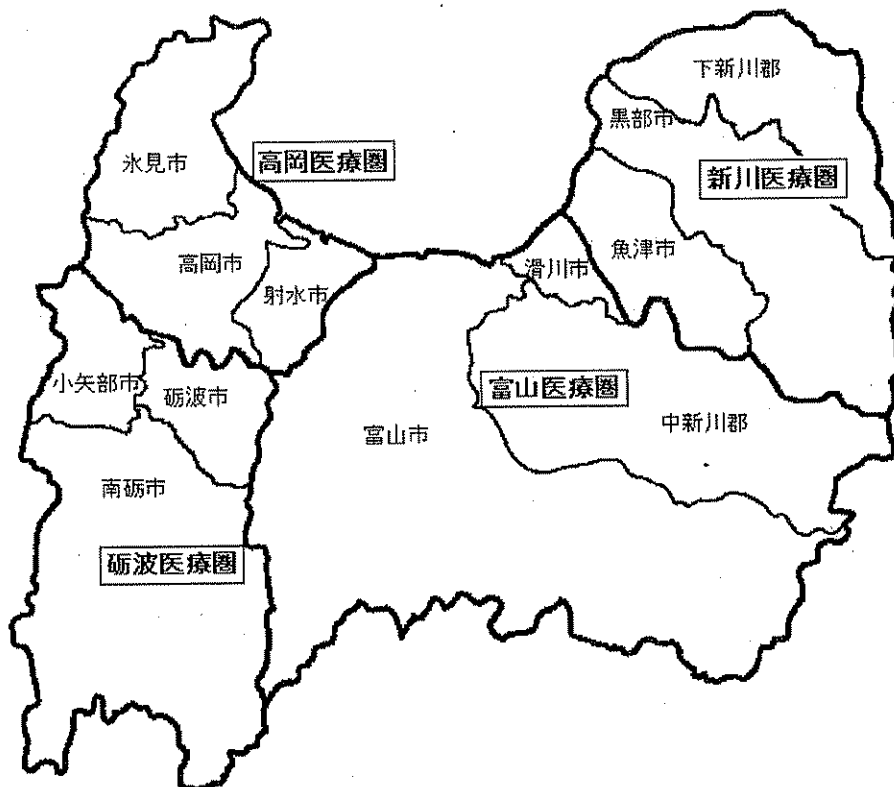
Ⅰ 疾病予防の推進 健康づくりと	I 生活習慣の改善の推進
	II 疾病予防の推進 1 生活習慣病対策 2 歯科保健対策 3 こころの健康づくり 4 結核・感染症対策 5 薬物乱用防止対策
	III ライフステージごとの健康づくりの推進 1 母子保健対策 2 学校保健対策 3 職域保健対策 4 成人・老人保健対策
Ⅱ 質の高い医療の提供	I 医療連携体制の推進 [1-1] 医療機能の分担と連携の推進 1 医療機能の充実 2 地域医療連携の推進 3 公的病院の機能充実 4 薬局の機能充実 [1-2] 4疾病5事業及び在宅医療体制の確保 1 がんの医療体制 2 脳卒中の医療体制 3 急性心筋梗塞の医療体制 4 糖尿病の医療体制 5 救急医療の体制 6 災害時における医療体制 7 へき地の医療体制 8 周産期医療の体制 9 小児医療の体制 10 在宅医療の体制 [1-3] 医療提供体制の整備充実 1 精神科救急医療 2 リハビリテーション 3 臓器移植等 4 和漢診療 5 ターミナルケア 6 医薬品・血液の確保 7 治験・臨床研究の促進
	II 医療安全と医療サービスの向上 1 医療安全対策の強化 2 医療の情報化 3 医療機関情報の提供 4 診療情報の提供の促進 5 患者の選択による医療の実現 6 患者ニーズに応じた医療サービス提供の促進 7 医業経営の効率化
	III 人材の確保と資質の向上 1 医師 2 歯科医師 3 薬剤師 4 看護職員 5 その他の保健医療従事者
Ⅲ 取組みの推進 の総合的な 保健・医療・福祉	I 保健・医療・福祉の総合的な提供 1 要介護等高齢者対策 2 障害者対策 3 難病対策 4 地域リハビリテーションの推進 5 身近な地域における連携支援
	II 健康危機管理の推進 1 健康危機管理体制 2 感染症まん延防止体制 3 食品・飲料水等の安全確保
	III 医療関係機関の充実 1 厚生センター、保健所等 2 研究機関 3 健康・健診施設 4 その他関係機関等

2. 医療圏と基準病床数

(1) 医療圏

① 2次医療圏

2次医療圏は、一般の医療需要に対応するための区域であって、特殊な医療を除き、医療活動が概ね充足できる区域であり、本県では、次のとおり定めている。



② 3次医療圏

3次医療圏は、特殊な医療需要に対応するための区域であり、本県では、県全域としている。

(2) 基準病床数

基準病床数は、医療法第30条の4第2項第12号の規定に基づき定められているものである。本県における基準病床数及び既存病床数は次のとおりである。

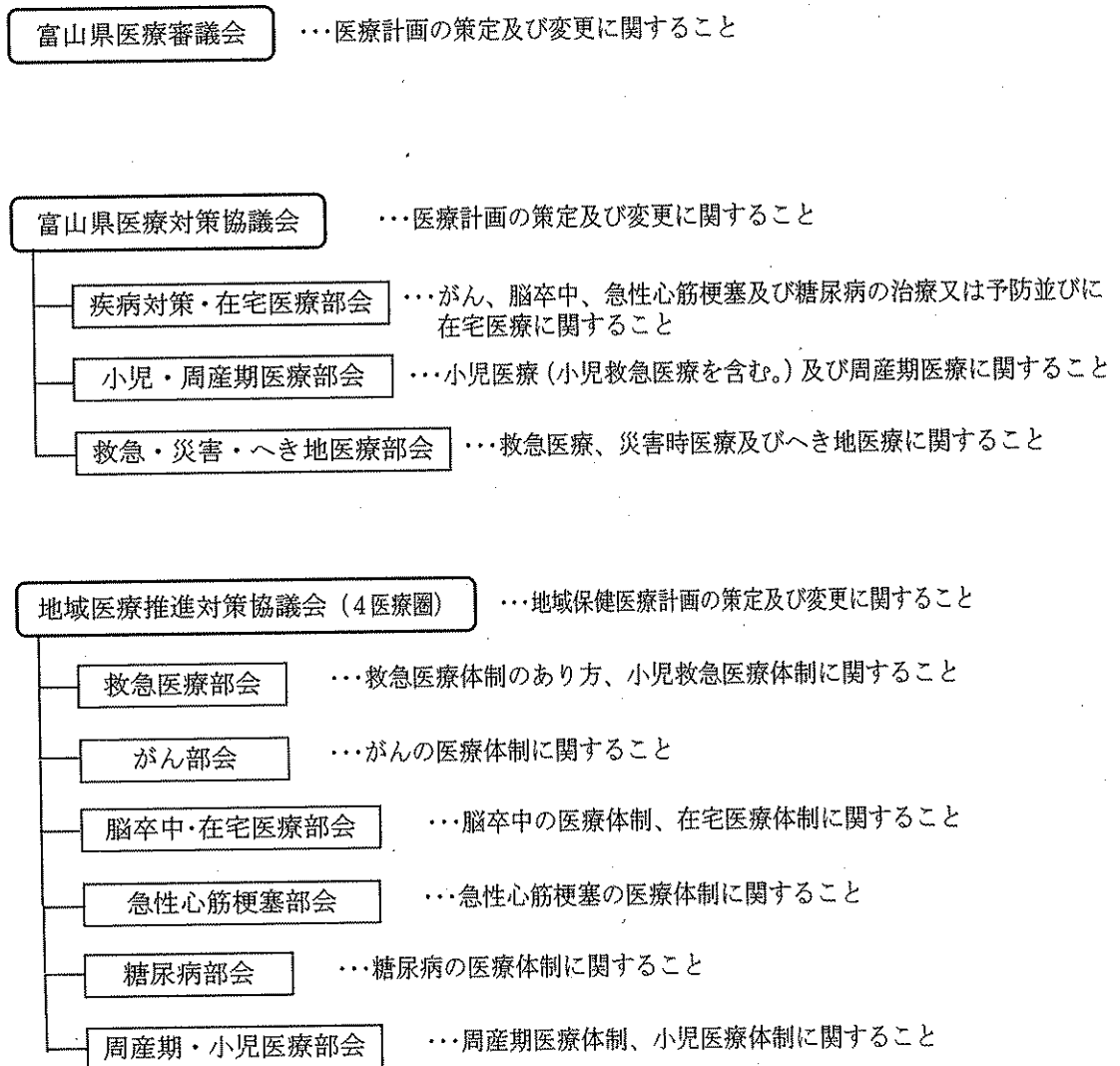
(既存病床数は平成21年4月1日現在、基準病床数は平成21年4月1日現在)

病床種別	医療圏	既存病床数	基準病床数	差引病床数
療養病床 及び 一般病床	新川	1,945床	1,361床	584床
	富山	6,890	5,547	1,343
	高岡	3,974	2,958	1,016
	砺波	1,862	1,595	267
	合計	14,671	11,461	3,210
精神病床	県全域	3,418	3,372	46
結核病床	県全域	106	107	△ 1
感染症病床	県全域	20	20	0

3. 地域保健医療計画

医療法に基づく「新富山県医療計画」を策定するとともに、各医療圏における地域保健医療計画を策定し、地域医療の推進を図っている。

医療計画の推進体制（平成21年4月現在）



4. 医療機関等の指導

(1) 医療施設の許可

医療法に基づき、病院などの開設（使用）許可及び一部変更（使用）許可並びに指導監督を行っており、20年度におけるこれらの許可の取扱件数は次のとおりである。

区 分	病 院	一般診療所	歯科診療所	計
開 設 許 可	2	10	1	13
開設許可事項変更許可	65	9	1	75
使 用 許 可	2	2	—	4
変 更 使 用 許 可 (うち自主検査)	42 (19)	4	—	46 (19)
開 設 届	2	20	16	38
廃 止 届	3	23	16	42
開設者死亡届	2	7	5	14
休 止 届	—	8	3	11
再 開 届	—	5	1	6
管理者兼任許可	—	40	4	44
管理者選任許可	—	2	7	9
宿直医師免除許可	4	—	—	4
計	122	130	52	306

(2) 病院の監視・指導

病院が医療法に規定する医療従事者、構造施設等の基準を維持し、適正な管理を行っているかどうか等について確認するため、医療監視を実施している。

医療監視 112病院（富山市管轄の48病院含む）

(3) 衛生検査所の指導

- ① 県内には、8施設（富山市管轄の5施設含む。）の衛生検査所が登録を受けている。（平成21年1月1日）
近年の医療における検査の重要性に鑑み、衛生検査所における検査精度の向上を図ることを目的に、平成元年から立入検査を実施している。
- ② 衛生検査等の精度管理の向上を図るため、富山県臨床検査精度管理協議会が実施する「臨床検査精度管理調査」に対し、助成（900千円）を行っている。
- ③ 臨床検査従事者の資質向上を図るため、（社）富山県臨床衛生検査技師会が実施する研修に対し、助成（90千円）を行っている。

5. へき地医療対策

へき地における医療の確保は、過疎地域等を有する市町村における行政課題になっているが、へき地医療機関における医師及び歯科医師の確保が極めて困難な現状から地域住民の要望に即したへき地医療対策を実施している。

本県の無医地区は7地区、無歯科医地区は9地区である。

「無医地区」とは、医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域以内に50人以上が住居している地区であり、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。また「無医地区に準ずる地区」とは、無医地区には該当しないが、無医地区に準じた医療の確保が必要な地区と各都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区をいう。

「無歯科医地区」とは、歯科医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域以内に50人以上が住居している地区であり、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。また「無歯科医地区に準ずる地区」とは無歯科医地区には該当しないが、無歯科医地区に準じた医療の確保が必要な地区と各都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区をいう。

無 医 地 区

(H16.12現在)

医療圏	厚生センター	市町村	地区数	地 区 名	人 口
新 川	新 川	黒 部 市	(2)	(栗 寺)	67
				(布 施 山)	205
		魚 津 市	(2)	(白 倉)	28
				(池谷・小菅沼)	30
富 山	中 部	上 市 町	2	白 萩 南 部	166
			(1)	(白 萩 東 部)	16
			山 加 積	197	
		立 山 町	(1)	(東 峯)	104
高 岡	高 岡	氷 見 市	4	女 良	264
			(1)	宇 波	191
			(八 代)	107	
			久 目	232	
			仏 生 寺	138	
		高 岡 市	1	五 位 山	563
砺 波	砺 波	砺 波 市	(1)	(井 栗 谷)	606
		南 砺 市	(2)	(東 西 原)	87
				(大 勘 場)	27
計		6市2町	7 (10)		3,028

() 内は無医地区に準じる地区

無歯科医地区

(H16.12現在)

医療圏	厚生センター	市町村	地区数	地区名	人口
新川	新川	朝日町	(1)	(大平)	35
		魚津市	(2)	(白倉)	28
				(池谷・小菅沼)	30
富山	中部	上市町	1	白萩南部	166
		立山町	(1)	(東峯)	104
	富山	富山市	1	大長谷	87
高岡	高岡	氷見市	5	女良	264
				宇波	191
				八代	107
				久目	232
				仏生寺	138
	高岡	高岡市	1	五位山	563
砺波	砺波	南砺市	(1)	(東西原)	87
				利賀	907
計		5市3町	9 (5)		2,939

() 内は無歯科地区に準じる地区

○へき地医療拠点病院運営費補助(国1/2、県1/2) 42,873千円

へき地医療対策を推進するため、無医地区等を有する医療圏毎にへき地医療の基幹的病院としてのへき地医療拠点病院を整備し、無医地区等への巡回診療やへき地診療所への代診医派遣等のへき地医療活動に対して補助する。

(事業の概要) (平成21年度予定日数)

・黒部市民病院(新川医療圏)	巡回診療	110日
・かみいち総合病院(富山医療圏)	巡回診療	60日
・金沢医科大学氷見市民病院(高岡医療圏)	巡回診療	82.5日
・市立砺波総合病院(砺波医療圏)	巡回診療	75日
・公立南砺中央病院(砺波医療圏)	巡回診療	6日

対象地域	新川医療圏	富山医療圏	高岡医療圏	砺波医療圏		
対象病院	黒部市民病院 (昭和55年整備)	かみいち総合病院 (昭和57年整備)	氷見市民病院 (昭和56年整備)	公立南砺中央病院 (平成14年整備)	市立砺波総合病院 (平成8年整備)	南砺市民病院 (平成18年整備)

6. 救急医療対策

(1) 救急医療体制の現況

① 初期救急医療体制

ア 休日夜間急患センター

休日又は夜間の比較的軽症の救急患者の診療を行う施設として、4圏域において休日夜間急患センターを設置している。

休日夜間急患センター等設置状況

H21.4.1現在

区分	開設者及び 開設年月日	運営方法	診療科目	診療時間	
				平日	休日
新川医療圏小児急患センター	黒部市 平成17年10月24日 ※黒部市民病院地域救命センター内に設置	公設公営	小児科	19:00～ 22:00	9:00～ 12:00 14:00～ 17:00
富山市救急医療センター	富山市 (休日夜間) 昭和48年7月17日 (夜間毎) 昭和53年4月1日	公設民営 (社)富山市医師会へ 委託	(昼) 内科、外科、 小児科 (夜) 内科、小児科、 外科 ※外科は水、木、 金、土、日のみ	19:00～ 翌2:00 (ただし医師は 翌6:00まで 待機)	9:00～ 17:30 18:30～ 翌2:00 (ただし医師は 翌6:00まで 待機)
高岡市急患医療センター	高岡市 (休日等昼間：内科、小児科、外科) 昭和55年11月30日 (休日等夜間：内科、小児科) 昭和57年10月3日 (土曜夜間：内科、小児科) 昭和59年4月7日 (休日等夜間：内科、小児科、外科) 平成10年10月4日 (平日夜間：内科、外科、小児科) 平成16年11月10日	公設民営 指定管理者 (社)高岡市医師会	内科、外科、 小児科	19:00～ 23:00	9:00～ 23:00
砺波医療圏急患センター	砺波広域圏事務組合 平成16年6月1日 (小児科) 平成19年4月1日 (内科、小児科)	公設公営	内科、小児科	20:00～ 22:30	10:00～ 17:00 20:00～ 22:30

受診者数 (20年度)

- ・新川医療圏小児急患センター 3,483人
- ・富山市救急医療センター 32,585人
- ・高岡市急患医療センター 23,435人
- ・砺波医療圏小児急患センター 8,668人

イ 在宅当番医制

休日の在宅当番医制を県下の11郡市医師会で、夜間の在宅当番医制を1市医師会で実施している。

ウ 休日等歯科診療

休日歯科診療、平日の心身障害者(児)歯科診療を富山県歯科保健医療総合センター(開設者:(社)富山県歯科医師会)で実施している。

- (7) 運営方法 (社)富山県歯科医師会に運営を委託
- (4) 診療日及び診療時間 (休日歯科診療)
- | | |
|----------------|-------------|
| 日曜日、祝日、年末年始、お盆 | 10:00~16:00 |
| (休日夜間歯科診療) | |
| 日曜日、祝日、年末年始、お盆 | 18:00~22:00 |
| (心身障害者(児)歯科診療) | |
| 毎週火・水・木曜日 | 12:00~18:00 |
- (7) 受入れ患者数 (20年度)
- | | |
|----------|--------|
| 休日 | 712人 |
| 休日夜間 | 337人 |
| 心身障害者(児) | 3,047人 |

エ 歯科在宅当番医制(昭和56年4月1日から実施)

県下4地区で各1診療所が当番制で休日等の歯科診療を実施している。

② 第2次救急医療体制

休日・夜間の重症救急患者の医療を確保するため、病院群輪番制を実施している。

区 分	実施年月日	診 療 日	実 施 病 院
富 山 地 区	昭和52年12月1日	休 祝 日 ・ 年 末 年 始 の 昼 間、 土 曜 の 昼 間、毎 夜 間	富山市民病院、富山赤十字病院 済生会富山病院、県立中央病院 厚生連滑川病院、かみいち総合病院 富山大学附属病院
高 岡 地 区	昭和53年9月1日		高岡市民病院、厚生連高岡病院 済生会高岡病院、氷見市民病院 社会保険高岡病院、射水市民病院
新 川 地 区	昭和57年3月21日		黒部市民病院、あさひ総合病院 富山労災病院
砺 波 地 区	昭和57年4月4日		市立砺波総合病院、南砺市民病院 北陸中央病院

③ 第2・5次救急医療体制

二次医療圏における救急医療水準の維持向上を図るため、第3次の救命救急センターに準じた機能を有する地域救命センターを黒部市民病院及び市立砺波総合病院に設置している。

・ 黒部市民病院

- (7) 開設者 黒部市
- (4) 病床数 15床
- (7) 運営開始年月日 平成10年4月1日

・ 市立砺波総合病院

- (7) 開設者 砺波市
- (4) 病床数 16床
- (7) 運営開始年月日 平成14年4月1日

④ 第3次救急医療体制

脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な救急患者を受け入れ、高度な診療機能と24時間の診療を行うため県立中央病院と厚生連高岡病院に救命救急センターを設置している。

・ 県立中央病院

- (7) 開設者 富山県
- (4) 病床数 30床
- (7) 運営開始年月日 昭和54年8月1日

・ 厚生連高岡病院

- (7) 開設者 富山県厚生農業協同組合連合会
- (4) 病床数 30床
- (7) 運営開始年月日 平成9年4月1日

⑤ 災害拠点病院

24時間緊急対応し、災害発生時に被災地からの傷病者の受け入れ拠点となる災害拠点病院を設置している。

- 1 指定年月日 平成8年11月29日、平成18年10月1日
- 2 区分 (1) 基幹災害医療センター 各都道府県に原則として1カ所
(2) 地域災害医療センター 各2次医療圏に原則として1カ所

基幹災害医療センター	地域災害医療センター			
	新川医療圏	富山医療圏	高岡医療圏	砺波医療圏
県全域 県立中央病院 富山大学附属病院	黒部市民病院	富山市民病院	高岡市民病院	市立砺波総合病院

(2) 救急医療体制の整備

① 初期救急医療体制の整備促進

休日・夜間における救急患者の大多数を最初に受け入れて、患者の診断、軽症患者に対する処理、重症又は専門処置を必要とする患者の応急処置及び搬送に対する的確な指示を行うため、初期救急医療体制の整備、機能強化を行う。

ア 休日等歯科診療所

(社)富山県歯科医師会に休日夜間の歯科救急医療、並びに心身障害者(児)の歯科診療の実施を委託する。また、同会が県歯科保健医療総合センターで実施している休日昼間の歯科救急医療事業に対し補助する。

(7) 休日夜間歯科診療(委託)	3,260千円
(4) 心身障害者(児)歯科診療(委託)	12,000千円
(9) その他(委託)	300千円
(エ) 休日昼間歯科診療(補助)	2,300千円

イ 歯科在宅当番医制

(社)富山県歯科医師会で在宅当番医制を実施する。

② 第2次救急医療体制の整備促進

休日・夜間の重症救急患者の医療を確保するため、富山、高岡、新川、砺波の4地区において第2次救急医療体制の整備を実施する。

ア 病院群輪番制病院運営費補助金(県単) 12,043千円

・新川地区	3,532千円
・富山地区	2,898千円
・高岡地区	2,461千円
・砺波地区	1,633千円

イ 小児救急医療支援事業費補助金(国1/3、県1/3)

黒部市民病院 1,087千円(国543千円、県544千円)

ウ 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金 8,574千円(国1/2、県1/2)

7病院(黒部市民、富山市民、富山赤十字、八尾総合、高岡市民、済生会高岡、市立砺波総合)

③ 第2・5次救命救急医療体制の整備

県民誰もが身近なところで高度な救急医療サービスが受けられるよう、2次医療圏ごとに3次の救命救急センターに準じた機能を有する地域救命センターを整備する。

・地域救命センター運営費補助金(県単)

黒部市民病院	14,372千円
市立砺波総合病院	15,156千円

④ 第3次救急医療体制の整備

脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な救急患者を受け入れ、高度な診療と24時間の診療を行うため救命救急センターを整備する。

・救命救急センター運営費補助金(国1/3、県1/3)

厚生連高岡病院 77,912千円(国38,956千円、県38,956千円)

⑤ 病院前救護体制の整備

・AED(自動体外式除細動器)普及事業 2,100千円

非医療従事者に対するAEDの普及を図り救命率の向上に資するため、AED講習会の実施や普及啓発を図る。

⑥ 救急医療情報システムの運営 33,271千円（医療機能情報提供システム分含む。）

ア 救急医療情報システムの概要

消防機関の搬送支援中心であった従来のシステム（昭和62年運用開始、平成4年4月更新）を見直し、より幅広い情報の充実を図り、インターネットを利用して、より多くの医療関係者や一般県民が利用できるようにした。

イ システムの情報内容

救急当番情報、医療機関応需情報、広域災害情報（救急当番情報は一般県民にも公開）

ウ 参加医療機関数（平成21年4月1日現在）

48医療機関

エ 運営委託先（社）富山県医師会、（社）富山県歯科医師会

（参考）とやま医療情報ガイド

救急医療情報システムと医療機能情報提供システムを包括したシステム。

医療機能情報提供システムでは、県民・患者による適切な医療機関の選択を支援するため、医療機関等に関する多様な情報を提供している。

⑦ 地区医療推進対策 1,742千円

ア 地域救急医療対策協議会運営費補助 200千円（県単）

地域ごとの救急医療対策を協議するため、市町村等が設置する県下4地区の地域救急医療対策協議会の運営に対し補助する。

イ 県地域医療推進対策協議会 1,242千円

総合的な地域医療体制を確立するため、地域医療推進対策協議会を2次医療圏毎に開催し、医療計画の円滑な推進を図る。

⑧ 立山診療所開設（県単）

立山・黒部アルペンルートの登山者、観光客などに対する救急医療対策として、立山室堂に富山県立山診療所を開設する。

開設期間 7/19～8/18

診療人数 101人

⑨ 地域医療対策推進費補助金（県単） 51,300千円

（社）富山県医師会 36,000千円

（社）富山県歯科医師会 15,300千円

⑩ PET（陽電子放射断層撮影装置）センター整備事業費

がんの医療や検診に大きく寄与するPETの導入を図るため、共同利用方式によるPETセンターの整備に対し18年度・19年度に出資し、利用促進を推進している。

出資先 とやま医療健康システム株式会社

出資額累計 375,000千円

⑪ 小児救急電話相談事業 9,131千円（国1/2、県1/2）

短縮番号“#8000”に電話すると、相談窓口の看護師（必要に応じて小児科医が対応）から症状に応じた適切な対処の仕方や、受診に関するアドバイス等を受けることができる電話相談サー

ビスを提供。

実施時間：19時から翌朝9時まで

⑫ 休日・夜間救急勤務医確保事業 111,978千円（国1/3、県1/3）

救命救急センター及び第二次救急医療機関に勤務する医師の処遇改善を図るため、休日・夜間において救急勤務医手当を支給する医療機関に対して補助する。

7. 公的医療機関

- (1) へき地医療拠点病院設備整備費補助金（国 1 / 2、県 1 / 2）

へき地医療を確保するために必要な医療機器を整備する病院に対して助成する。

市立砺波総合病院 52,500千円（国 26,250千円、県 26,250千円）

- (2) へき地巡回診療車設備整備費補助金（国 1 / 2、県 1 / 2）

へき地医療を確保するために必要な巡回診療車を整備する病院に対して助成する。

かみいち総合病院 1,361千円（国 680千円、県 681千円）

富 山 県 公 的

医療圏	施設名	郵便番号	所在地	電話番号	管理者
新 川	あさひ総合病院	939-0741	下. 朝日町泊477	(0765)83-1160	東山考一
	黒部市民病院	938-0031	黒. 三日市1108-1	(0765)54-2211	新居隆
	富山労災病院	937-0042	魚. 六郎丸992	(0765)22-1280	三輪晃一
	小		計		
富 山	かみいち総合病院	930-0353	中. 上市町法音寺51	(076)472-1212	重田浩一
	厚生連滑川病院	936-0027	滑. 常盤町119	(076)475-1000	稲生暁春
	富山県立中央病院	930-0975	富. 西長江2-2-78	(076)424-1531	飯田博行
	富山市立富山市民病院	939-8075	富. 今泉北部町2-1	(076)422-1112	泉良平
	富山大学附属病院	930-0152	富. 杉谷2630	(076)434-2281	遠藤俊郎
	富山通信病院	930-0086	富. 鹿島町2-2-29	(076)421-7801	高田正信
	富山赤十字病院	930-0859	富. 牛島本町2-1-58	(076)433-2222	小西孝司
	富山県済生会富山病院	931-8442	富. 楠木33-1	(076)437-1111	利波紀久
	富山県立高志リハビリテーション病院	931-8443	富. 下飯野36	(076)438-2233	野村忠雄
	富山県立高志学園	931-8443	富. 下飯野51-1	(076)438-5678	峰松康治
	独立行政法人国立病院機構 富山病院	939-2607	富. 婦中町新町3145	(076)469-2135	京谷征三
小		計			
高 岡	射水市民病院	934-0053	射. 朴木20	(0766)82-8100	麻野井英次
	高岡市民病院	933-0064	高. 宝町4-1	(0766)23-0204	澤崎邦廣
	富山県済生会高岡病院	933-0816	高. 二塚387-1	(0766)21-0570	北川和久
	社会保険高岡病院	933-0115	高. 伏木古府元町8-5	(0766)44-1181	宮崎幹也
	厚生連高岡病院	933-0843	高. 永楽町5-10	(0766)21-3930	駒井杜詩夫
	氷見市民病院	935-0021	氷. 幸町31-9	(0766)74-1900	高島茂樹
小		計			
砺 波	北陸中央病院	932-0836	小. 野寺123	(0766)67-1150	宮元進
	市立砺波総合病院	939-1343	砺. 新富町1-61	(0763)32-3320	杉本立甫
	南砺市民病院	932-0211	南. 井波938	(0763)82-1475	南真司
	独立行政法人国立病院機構 北陸病院	939-1851	南. 信末5963	(0763)62-1340	古田壽一
	公立南砺中央病院	939-1742	南. 梅野2007-5	(0763)53-0001	根井仁一
小		計			
合		計			

病院名簿

(平成21年4月1日現在)

経営主体				許可病床数						救急	へき地
国	県	市町村	その他	一般	療養	精神	結核	感染症	合計		
		○		194			5		199	○	
		○		405			5	4	414	○	○
			○	300					300	○	
		2	1	899			10	4	913	3	1
		○		159		60			219	○	○
			○	211		68			279	○	
	○			665		80	20		765	○	
		○		539		50		6	595	○	
○				569		43			612	○	
			○	50					50		
			○	435					435	○	
			○	250					250	○	
	○			150					150		
	○			76					76		
○				270			50		320	○	
2	3	2	4	3,374		301	70	6	3,751	8	1
		○		195			4		199	○	
		○		408		50	12	6	476	○	
			○	270					270	○	
			○	199					199	○	
			○	681					681	○	
		○		363			5		368	○	○
		3	3	2,116		50	21	6	2,193	6	1
			○	199					199	○	
		○		461		44	5	4	514	○	○
		○		180					180	○	○
○				80		174			254		
		○		145	45				190	○	○
1		3	1	1,065	45	218	5	4	1,337	4	3
3	3	10	9	7,454	45	569	106	20	8,194	21	6

8. 医療従事者確保対策

- (1) 医療充足対策
自治医科大学医師養成事業 学生数 12名 127,000千円
- (2) 歯科衛生士充足対策
歯科衛生士養成所巡回臨床実習教育費補助（県単） 900千円
- (3) 医師確保対策
- ① 医学生等修学資金貸与事業（予算額 45,356千円（県単））
医師不足の小児科、産科、麻酔科医等を志す医学生、県内公的病院での勤務を志す医学生に対し、修学資金を貸与する。
- ・特定診療科枠（10名）
対象者：小児科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科を志す医学生
貸与額：月額70千円、入学月加算300千円
義務年限：貸与期間の1.5倍
 - ・公的病院枠（12名）
対象者：県内公的病院での勤務を志す医学生
貸与額：月額40千円、入学月加算300千円
義務年限：貸与期間の2倍
- ② ⑧ 地域医療確保修学資金貸与事業（予算額 10,200千円（県単））
国の緊急医師確保対策に基づく定員増による富山大学医学部特別枠（5名）に対し、修学資金を貸与する。
- 対象者：富山大学医学部特別枠（5名）
貸与額：月額100千円＋授業料及び入学料相当額
義務年限：知事の指定する医師確保が必要な医療機関の小児科等において9年間従事
- ③ ⑧ 地域医療確保医学生支援事業（予算額 3,000千円（県単））
医学生を対象とした地域医療に関する学外教育を行うNPO法人に対して助成する。
- ④ 医学生等県内就職推進事業（予算額 2,970千円（県単））
医学生を対象に、県内病院等の最新情報を定期的に提供するとともに、「夏期セミナー」（病院実習・交流会）を開催する。また、東京など県外での臨床研修病院合同説明会において、県内病院と連携したPR事業を実施する。
- ⑤ ⑧ 臨床研修医総合確保対策事業（予算額 1,000千円（県単））
富山大学医学生を対象とした臨床研修病院合同説明会へ参加するとともに、臨床研修病院指導医講習会を開催する。
- ⑥ 地域医療医師育成システム事業（予算額 2,600千円（国1/2、県1/2））
大学、県立中央病院と県内公的病院が連携する地域医療医師育成システムに対して支援する。
- ⑦ ⑧ 総合医研修モデル病院事業（予算額 1,000千円（県単））
総合医としてキャリアアップを図る体制をモデル的に整備する病院に対して助成する。
- ⑧ 女性医師キャリア維持向上支援事業（予算額 1,200千円（県単））
女性医師の就労・キャリア継続を支援する体制を検討・整備するモデル病院に対して助成する。

(4) 看護師等確保対策事業

① 看護学生修学資金貸与

看護職員の県内就労を促進するため、将来、県内の施設等において看護業務に従事しようとする看護学生に対し、修学資金を貸与する。

予 算 額 122,141千円 (県単)

貸与月額 大学・修士課程

国公立 36,000円
その他 40,000円

保健師、助産師、看護師養成所・短大

国公立 32,000円
その他 36,000円

准看護師養成所

国公立 15,000円
その他 21,000円

平成20年度貸与者 283名 (新規110名、継続173名)

② 病院内保育所運営費補助事業

医療従事者の離職防止及び再就職を促進するため、病院及び診療所に従事する職員のための保育施設の運営に助成する。

	民間立	自治体立
対 象 施 設	5 施設	4 施設
補 助 率	国 1 / 3、県 1 / 3	県 1 / 3
予 算 額	23,590千円	10,714千円

③ 看護師等就労促進事業

ア 目 的

医療の高度専門化、また少子・高齢化社会にあつて、介護保険制度をはじめとする社会保障制度全般にわたる見直しの中で、看護職員の資質の向上と新たな需要が予想される。

また、若年人口が今後減少傾向にあることから、看護職員の養成確保対策の充実強化が必要である。

このような状況から平成4年11月に「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく「富山県ナースセンター」を富山県看護協会に設置し、県内の看護職員の確保を図っている。

イ 委 託 先 (社)富山県看護協会

ウ 内 容 (委託事業) 21,000千円 (県単)

事 業 名	内 容
就 労 促 進 事 業	① 登録事業・相談指導事業
	② 潜在看護職員の掘り起こし事業・把握調査
	③ 看護職員再就業支援研修会
	④ 公共職業安定所との連絡
	⑤ 中央ナースセンター等との連携
	⑥ 県外看護大学生Uターン促進事業

看護の心普及啓発事業	① 「看護の心」の普及事業 ② 高校生の一日看護見学
訪問看護支援事業	① 訪問看護師養成講習会 ② 訪問看護相談事業 ③ 訪問看護支援事業 ④ 訪問看護業務の実態把握 ⑤ 訪問看護師従事者交流会 ⑥ 訪問看護ステーション開設者育成研修会

④ 認定看護師育成研修支援事業（県単）

中堅看護職員の職場定着のため、認定看護師養成課程へ派遣する病院に対して、受講料の一部を助成する。

21年度対象施設 5病院（5名分） 予算額 1,250千円

⑤ 新卒看護職員職場定着支援事業 1,260千円（国10/10）

病院の実態に応じた新卒看護職員指導体制を整備し、普及を図るもの。

ア 新卒看護職員に優しいモデル病院事業

イ 新卒看護職員研修会

ウ 新卒看護職員指導者研修会

⑥ 若手看護職員フォローアップ研修等支援事業 1,000千円（国10/10）

若手看護職員の医療事故等への不安による離職を防止するとともに、安心安全な医療の提供を図るもの。

ア 若手看護職員研修会・交流会

イ 若手看護職員のための医療安全出前セミナー

(5) 訪問看護推進事業（委託：看護協会） 800千円（国1/2）

県民や保健・医療・福祉関係者に対して在宅緩和ケアの普及啓発を図るとともに、それを支える看護職員の看護技術の向上を支援する。

① 在宅緩和ケア普及啓発パンフレットの作成（在宅ホスピスケア普及事業）

② 在宅緩和ケア事例検討会（在宅ホスピスケアアドバイザー派遣事業）

(6) がん専門分野における資質の高い看護師育成事業 3,946千円（国10/10）

がん患者に対する看護ケアの充実を図るため、がん診療連携拠点病院の連携のもと、臨床実践能力の高い専門的な看護師を育成する。

① がん看護臨床実践研修プログラム検討会（県実施）

② がん看護臨床実践研修（県立中央病院委託）

(7) 助産師外来等助産師研修事業 1500千円（国1/2）

助産師外来開設を検討している公的病院の管理者及び助産師を対象に、助産師外来の開設と運営に関する研修会を開催する。

① 研修プログラム検討会（県実施）

② 研修会の開催

(8) ①院内助産所・助産師外来施設設備整備補助事業 予算額 5,080千円（国1/3、県1/3）

妊産婦等の多様なニーズに応え、地域における安全・安心・快適なお産の場を確保するため、「院内助産所」・「助産師外来」を設置しようとする産科を有する病院・診療所に対し、体制整備に必要

な備品の設置に要する経費の補助を行う。

(9) 看護職員再就業支援モデル事業（県単） 660千円

再就業した看護職員に対する支援策、ワークライフバランスに配慮した再就業しやすい病院づくりをモデル的に検討する病院へ支援するとともに、県内公的病院の再就業支援策についての取組みを検討する。

①再就業支援策検討モデル病院事業 済生会高岡病院、公立南砺中央病院で実施

【補助金】 1病院あたり250千円（補助率1/2）

②合同検討会 3回開催し、モデル病院での取組みを支援

(10) 看護大学生Uターン促進事業

高い知識と技術を習得し、豊かな人間性を備えた看護職員を、質、量ともに確保していく必要があるため、県内で養成した看護大学生の県内定着を図るとともに、県外に進学した看護学生等の県内Uターンを促進した。

① 病院見学・交流会の開催（委託先 富山県看護協会）

（事業内容）

・開催 8月 4医療圏で実施

・日程 午前 参加病院のプレゼンテーション

午後 見学（希望する病院の施設等を見学）

交流会（若手看護職員との意見交換等）

② 県外看護学生に対する医療情報提供

病院就職情報提供を希望する看護大学生に対し、就職説明会開催（3月、7月）等の情報、県内病院の見学会等情報、看護職員の活躍情報や情報誌等を提供する。

(11) 産科医等確保支援事業 54,367千円

産科医等に対して分娩手当等を支給している分娩取扱機関に対する財政支援を行う。

医療関係者養成実態一覧表

平成 21 年 4 月現在

区 分	根拠法規	免 許 付 与 者	養 成 機 関			修 業 年 限	
			指定権者	養 成 形 態	入 学 資 格		
医 師	医 師 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	6 年	
歯科医師	歯科医師法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	6 年	
薬 剤 師	薬 剤 師 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
保 健 師	保健師助産師 看護師法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
				短期大学専攻科	短大卒で看護師国家 試験受験有資格者	1 年	
			厚生労働大臣	専修・各種学校	看護師国家試験 受験有資格者	1 年	
助 産 師	保健師助産師 看護師法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
				短期大学専攻科	短大卒で看護師国家 試験受験有資格者	1 年	
			厚生労働大臣	各 種 学 校	看護師国家試験 受験有資格者	1 年	
				専修・各種学校	看護師国家試験 受験有資格者	1 年	
看 護 師	保健師助産師 看護師法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
			文部科学大臣	短期大学	3 年 課 程	高 校 卒	3 年
				短期大学	2 年 課 程	高校卒准看護師	2 年
				5 年一貫教育	中 学 校 卒	5 年	
			文部科学大臣	高等学校専攻科	高校卒准看護師	2 年	
				専修・ 各種学校	3 年 課 程	高 校 卒	3 年
			厚生労働大臣		専修・ 各種学校	2 年 課 程	准看護師業務経験 3年以上又は高校 卒の准看護師
				3 年 課 程		高 校 卒	3 年
			厚生労働大臣	専修・ 各種学校	2 年 課 程	准看護師業務経験 3年以上又は高校 卒の准看護師	2 年
					2 年 課 程	准看護師業務経験 3年以上又は高校 卒の准看護師	2 年
准 看 護 師	保健師助産師 看護師法	都道府県知事	文部科学大臣	高 等 学 校	中 学 校 卒	3 年	
				各 種 学 校		2 年	
			都道府県知事	専修・各種学校		2 年	
診 療 放 射 線 技 師	診療放射線 技師法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
				短期大学 専修学校		3 年	
			厚生労働大臣	専修・各種学校		3 年	
臨 床 検 査 師 技 師	臨床検査技師、 衛生検査技師 等に関する 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年	
				短期大学 専修学校		3 年	
			厚生労働大臣	専修・各種学校		3 年	

区 分	根 拠 法 規	免 許 付 与 者	養 成 機 関			修 業 年 限
			指定権者	養 成 形 態	入 学 資 格	
理 療 法 学 士	理 学 療 法 士 及 作 業 療 法 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
				短 期 大 学 盲 学 校 高 等 部 専 攻 科		3 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
作 療 法 業 士	理 学 療 法 士 及 作 業 療 法 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
				短 期 大 学		3 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
視 訓 練 能 士	視 能 訓 練 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		3 年
				大 学 等 で 2 年 以 上 修 業 し、指 定 の 科 目 を 修 め た も の	1 年	
言 聴 覚 語 士	言 語 聴 覚 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		3 年
				大 学 等 で 1・2 年 以 上 修 業 し、指 定 の 科 目 を 修 め た も の	2・1 年	
歯 衛 生 科 士	歯 科 衛 生 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	短 期 大 学	高 校 卒	3 年
				専 修 学 校		
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
歯 技 工 科 士	歯 科 技 工 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	専 修 学 校	高 校 卒	2 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
臨 床 工 学 技 士	臨 床 工 学 技 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
				短 期 大 学		3 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
義 肢 装 具 士	義 肢 装 具 士 法	厚生労働大臣	厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校	高 校 卒	3 年
救 救 命 急 士	救 急 救 命 士 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校	高 校 卒	2 年
					医 療 関 係 養 成 所 で 1 年 以 上 修 業 し た 者 救 急 隊 員 の 講 習 を 終 了 し、救 急 隊 員 の 実 務 経 験 5 年 又 は 2000 時 間 以 上 で あ る 者	1 年
		0.5 年				
あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師 は り 師 き ゅ う 師	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師、 は り 師、き ゅ う 師 に 関 す る 法 律	厚生労働大臣	文部科学大臣	大 学	高 校 卒	4 年
				短 期 大 学 盲 学 校 高 等 部 専 攻 科		3 年
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		
柔 道 復 師	柔 道 整 復 師 法	厚生労働大臣	文部科学大臣	短 期 大 学	高 校 卒	3 年
				盲 学 校 高 等 部 専 攻 科		
			厚生労働大臣	専 修 ・ 各 種 学 校		

注 この一覧表は、医療関係者の養成の実態に沿って掲載したものであり、「衛生検査技師」については新規に養成されていないため区分には入れていない。

9. 看護師等養成所

(1) 運営指導

看護師等養成所の運営と適正化と教育内容の充実について指導する。

① 専任教員について

専任教員の資格が得られるように、看護教員養成講習会の受講について指導を行っている。

専任教員数 (H21.4月現在)

区 分	施 設 数	専 任 教 員	
		現 員	数
保 健 師	1 施設	3	人
助 産 師	1	3	
看 護 師	3年課程	8	69
	2年課程	1	9
准 看 護 師	2	8	
計	13	92	

大学・短期大学・高等学校は除く

② 入学定員の確保

看護師養成所の入学定員を充足するため、修学資金制度の活用、高校生の一日常護見学の実施、養成機関共同PRガイドブックの作成等を行っている。

年度別看護師等養成所入学状況

(保健師)

項目 年度	1学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率 受験者 入学者	充足率 入学者 定員
16	85 (60)	232 (186)	174 (137)	75 (60)	73 (60)	2.4	85.9
17	85 (60)	274 (209)	207 (149)	83 (62)	75 (60)	2.8	88.2
18	85 (60)	545 (463)	368 (300)	81 (60)	78 (60)	4.7	91.8
19	85 (60)	217 (170)	166 (125)	92 (67)	75 (62)	2.2	88.2
20	85 (60)	529 (451)	396 (328)	136 (68)	85 (60)	4.7	100.0

() 内は富山大学分再掲

(助産師)

項目 年度	1学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率 受験者 入学者	充足率 入学者 定員
16	15	112	102	15	10	10.2	66.7
17	15	90	83	17	14	5.9	93.3
18	15	81	77	18	14	4.3	93.3
19	15	81	73	18	15	4.9	100.0
20	15	91	81	16	16	5.1	106.7

(看護師)

項目 年度	1 学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率	受験者 入学者	充足率	入学者 定員
16	545	1,467 (162)	1,321 (142)	653 (54)	425 (38)	3.1		78.0	
17	455	1,361 (161)	1,254 (126)	676 (78)	438 (49)	2.9		96.3	
18	515	1,399 (160)	1,144 (140)	632 (69)	399 (55)	2.9		84.0	
19	515	1,133 (151)	1,050 (141)	714 (79)	495 (54)	2.1		96.1	
20	595	1,442 (179)	1,281 (149)	729 (62)	497 (50)	2.6		83.5	

() 内は男子再掲

(准看護師)

項目 年度	1 学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率	受験者 入学者	充足率	入学者 定員
16	110	202 (59)	189 (55)	106 (24)	97 (23)	1.9		88.2	
17	110	172 (53)	166 (51)	111 (32)	91 (27)	1.8		82.7	
18	110	127 (31)	118 (28)	98 (23)	91 (22)	1.3		82.7	
19	110	122 (30)	119 (29)	97 (26)	92 (25)	1.3		83.6	
20	110	114 (23)	109 (22)	88 (19)	83 (18)	1.3		75.5	

() 内は男子再掲

(2) 看護師等養成所運営費補助

看護師等養成所の養成力の強化、教育内容の充実を図るため運営費を補助する。

21年度 予算額 117,421千円

補助率 国1/2、県1/2 (民間立: 4施設 5課程)

県単 (公的立: 2施設 2課程)

(3) 専任教員再教育事業委託

看護師等養成所の専任教員を対象に、看護教育水準向上にむけた研修を実施する。

21年度 予算額 900千円 (国: 報償費・旅費について10/10)

委託先 富山県看護教育機関連絡協議会

10. 保健師等現任訓練事業

看護職員が、医療の進歩、多様化する社会のニーズに対応したよりよい看護を展開するために必要な知識、技術の研修を行う。

21年度 予算額 7,815千円

主 な 研 修 名

平成20年度

区分	国	県	各 種 団 体	
実施 機関	厚生労働省 (派遣研修)	県	(社)富山県看護協会 (委託・補助)	日本助産師会 富山県支部 (補助)
研 修 名	1. 看護教員養成課程 (1年) 2. 国立保健医療科学院 (短期研修) 3. 保健師中央研修会 4. 全国保健師長研修会	1. 新任保健師研修 2. 保健師指導者研修会 3. 保健師活動研究研修 4. 保健医療福祉連携研修 (委託) 5. 地域保健関係職員 キャリアアップ研修 (厚生センター) 6. 小規模施設看護職員実務 研修(厚生センター) 7. 災害時の保健活動に関する研修	1. 看護倫理 2. 看護研究 3. リハビリテーション看護 4. 在宅医療・看護 5. 感染症対策 6. 生涯看護 7. 看護トピックス 8. 助産師キャリアアップ 支援研修 9. 保健師助産師看護師等 実習指導者講習会 10. 小規模施設看護職員実 務研修 11. リスクマネジメント	1. 母子看護

11. 資格試験及び免許

(1) 資格試験

歯科技工士法に基づく歯科技工士試験及び保健師助産師看護師法に基づく准看護師試験を実施している。

種 類	出願者数	受験者数	合格者	合格率	試験実施年月
歯科技工士	16	16	14	87.5	21.2
准看護師	101	101	101	100.0	21.2

(2) 免 許

医療従事者（医師、歯科医師、歯科技工士、診療放射線技師、診療エックス線技師、臨床検査技師、衛生検査技師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士）については、各法律に基づき、免許の登録、免許証の書換え及び再交付等の事務を行っている。

平成20年度免許関係事務の状況

種 類	免許申請	書 換	再 交 付	抹 消	返 納	計
知 事 免 許	診療エックス線技師	—	—	—	—	—
	旧 保 健 婦	—	—	—	—	—
	旧 助 産 婦	—	—	—	—	—
	旧 看 護 婦	—	—	—	—	—
	准 看 護 師	89	70	44	—	203
	(小 計)	89	70	44	—	203
厚 生 労 働 大 臣 免 許 （ 経 由 分 ）	医 師	78	19	2	11	110
	歯 科 医 師	12	5	—	4	21
	診療放射線技師	16	6	1	—	23
	臨床検査技師	16	12	2	1	31
	衛生検査技師	2	—	—	—	2
	歯 科 技 工 士	14	8	5	—	27
	保 健 師	99	57	4	—	160
	助 産 師	15	14	1	—	30
	看 護 師	425	311	19	—	755
	理 学 療 法 士	43	11	—	—	54
	作 業 療 法 士	34	21	2	—	57
	視 能 訓 練 士	4	4	1	—	9
	(小 計)	758	468	37	16	1,279
合 計	847	538	81	16	1,482	

12. 市町村保健センター（保健衛生施設等施設整備費国庫補助対象施設）

名 称	郵 便 番 号	所 在 地	電 話 番 号	建設 年度	単独 合同 の別
富山市大山保健福祉センター	930-1314	富山市三室荒屋830	076-483-1727	S.53	単
立山町保健センター	930-0229	中新川郡立山町前沢新町611	076-463-0618	〃	〃
砺波市庄川健康センター	932-0302	砺波市庄川町庄5134-1	0763-82-5320	〃	〃
滑川市民健康センター	936-0056	滑川市田中新町127	076-475-8011	S.54	〃
富山市大沢野保健福祉センター	939-2254	富山市高内365	076-467-5812	〃	合
南砺市城端保健センター	939-1811	南砺市理休429	0763-62-3578	S.55	単
南砺市平保健センター	939-1923	南砺市下梨2271	0763-66-8026	〃	合
射水市新湊保健センター	934-0011	射水市本町2-10-18	0766-82-8416	〃	単
氷見市保健センター	935-0021	氷見市幸町30-15	0766-74-8413	S.56	〃
南砺市井波保健センター	932-0211	南砺市井波530	0763-82-5439	〃	〃
富山市細入総合行政センター保健相談室	939-2192	富山市楡原1105-1	076-485-9005	S.57	〃
富山市中央保健福祉センター	930-0085	富山市丸の内2-8-7	076-422-1172	S.58	合
黒部市保健センター	938-0031	黒部市三日市1128-1	0765-54-2411	S.59	〃
射水市小杉保健センター	939-0351	射水市戸破1032-3	0766-56-3007	〃	〃
高岡市保健センター	933-0045	高岡市本丸町7-25	0766-20-1345	S.60	〃
魚津市健康センター	937-0041	魚津市吉島1165	0765-24-3999	〃	単
射水市大門保健センター	939-0241	射水市中村38	0766-52-7070	H.7	合
射水市下村保健センター	933-0205	射水市加茂西部63-1	0766-59-8021	H.9	単
小矢部市総合保健福祉センター	932-0821	小矢部市鷺島15	0766-67-8605	H.10	合
富山市北保健福祉センター	931-8353	富山市岩瀬文化町23-2	076-426-0050	H.12	単
高岡市福岡健康福祉センター	939-0192	高岡市福岡町大滝22	0766-64-5333	H.13	合
富山市婦中保健福祉センター	939-2603	富山市婦中町羽根1105番地7	076-469-0770	H.15	〃
朝日町保健センター	939-0746	下新川郡朝日町荒川262-1	0765-83-3309	(H.16)	〃
計		23ヶ所			

13. 地域保健活動推進指導

(1) 保健師助産師看護師学生等に対する実習指導

保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づき、厚生センターにおいて実施している看護学生などの地域実習に関する支援を行う。

20年度実績	学校・養成所数	2施設
	学 生 数	実214名 延1,281名

(2) 厚生センター保健・福祉サービス調整推進事業

地域住民のニーズに応じた適切なサービスを提供するため、厚生センターに保健福祉サービス調整推進会議を設置し、保健・医療・福祉等関係者の連携強化を図ることにより、地域における包括的な保健・医療・福祉サービスの提供システムの構築を推進する。

- ①訪問対象者への援助内容の検討、事例研究及び評価検討
- ②管内関係団体・機関との連絡調整及びサービス体制の検討
- ③地域における包括的な保健・医療・福祉のシステム構築の推進に関して必要な研修会の開催等

14. 臓器移植等推進対策

(1) 臓器移植推進

臓器移植に関する研究並びに臓器移植のための諸条件の整備を行うとともに臓器移植に関する知識の普及啓発を行うことにより、臓器移植制度の円滑な運用を図る。

ア 臓器移植の普及啓発及び移植時のコーディネーションのため、(財)富山県腎臓バンク(平成元年8月10日設立)が実施する臓器移植コーディネーター設置事業に対し、助成(5,400千円)を行う。

イ 臓器移植院内コーディネーターが活動しやすい環境を整備するとともに、医療機関における臓器移植の取り組みを推進する。

① 臓器移植院内コーディネーターに対し、知事委嘱状を交付する。(21病院48名)

② ドナーとなりうる患者の家族に対して移植医療についての考えを確認するためのリーフレットを作成する。

③ 臓器移植院内コーディネーターを設置している病院のPRポスターを作成し、病院内に掲示することにより、患者、県民に対する普及啓発を行う。

ウ 臓器移植普及推進月間(10月1日～31日)における街頭キャンペーン等を実施する。

エ 献眼思想の普及啓発を図るため、(財)富山県アイバンク(平成3年12月27日設立)に対し、助成(1,350千円)を行う。

(2) 献体運動の推進

富山大学医学部学生の臨床教育上必要な遺体を確保するため、啓発活動を行うとともに、献体運動を推進している富山大学しらゆり会に対し助成(486千円)を行う。

(3) 骨髄提供希望者登録の推進

ア 地方骨髄センター(富山県赤十字血液センター)のほか、厚生センターにおいても、骨髄バンクのドナー登録受付業務実施することにより、骨髄提供希望者が登録しやすい環境を整備する。

実施厚生センター：新川・高岡厚生センター

イ 骨髄ドナー登録者の拡大を図るため、市町村庁舎やショッピングセンター等で移動献血併行型骨髄ドナー登録会を行う。委託先：県看護協会 500千円

〈参考〉

	富山県腎臓バンク状況	富山県アイバンク状況	骨髄バンク状況
	提供希望者登録数	提供希望者登録数	提供希望者登録数
平成11年	689	887	176
平成12年	200	247	152
平成13年	140	236	237
平成14年	863	163	286
平成15年	309	262	499
平成16年	287	112	412
平成17年	208	160	303
平成18年	240	134	202
平成19年	58	201	135
平成20年	-	127	145

(注) 腎臓バンク、骨髄バンクは年度集計、アイバンクは暦年集計

H20腎臓バンク提供希望者登録数は、臓器移植ネットワークに登録業務が移行したためデータなし

15. 保 健 統 計

厚生行政の推進や行政効果の判定の基礎資料として必要な資料の作成を目的として、人口動態調査をはじめ各種の統計調査を実施している。

平成21年度に実施する統計調査の概要は次のとおりである。

平成 21 年 度 に 実 施 す

区 分	調 査 名	調 査 目 的	根拠法規等	実施機関の 調査系統	調 査 対 象		
					地 域	単 位	客 体 数
基幹統計	人口動態調査	人口動態事象（出生・死亡・死産・婚姻・離婚）を把握し、人口及び厚生行政施策の基礎資料を得る	統計法 戸籍法 人口動態調査令 人口動態調査令 施行細則 死産の届出に 関する規程	厚生労働省 県 保健所 厚生センター 市町村	県全域	市町村長 に届出さ れた出生・ 死亡・死 産・婚姻及 び離婚届	1年間の 事件発生 の全数 約 29,000件
一般統計	地域保健・健康 増進事業報告	地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体ごとに把握し、地域保健施策の効率・効果的な推進のための基礎資料を得る	地域保健法 健康増進法	厚生労働省 県 厚生センター 市町村	県全域	保健所 厚生センター 市町村	全 数
一般統計	衛生行政報告例	衛生関係諸法規の施行に伴う行政の実態を数量的に把握して、衛生行政運営のための基礎資料を得る	地方自治法 第245条の 4第1項	厚生労働省 県 保健所 厚生センター 衛生研究所 食肉検査所 薬事研究所	県全域	保健所 厚生センター 衛生研究所 食肉検査所 薬事研究所	全 数
一般統計	病院報告	病院における患者の利用状況及び従事者の状況を把握する	医療法 医療法施行 規則	厚生労働省 県 保健所 厚生センター 病 院 療養病床を有 する診療所	県全域	病 院 療養病床 を有する 診 療 所	全 数
基幹統計	医療施設 動態調査	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得る	統計法 医療法 医療施設 調査規則	厚生労働省 県 保健所 厚生センター 医療施設	県全域	病 院 一般診療所 歯科診療所	届出のあ った施設 の全数
基幹統計	国民生活 基礎調査	国民の保健、医療、福祉等生活の基礎的な事項について、世帯面から総合的に把握する	統計法 国民生活基 礎調査規則	厚生労働省 県 保健所 厚生センター 調 査 員 世 帯	国勢調 査区か ら抽出 された 調査地 区	世帯及び 世帯員	(抽出) 100地区 約 世帯

る 保 健 統 計 調 査 一 覧

No. 1

調査周期	調査実施期 (初回)	主 な 調 査 事 項	結 果 公 表
毎 年	月 末 (M. 32)	1. 出生票：性、出生年月日・時間、住所、父母の年齢、 体重、立会者等 2. 死亡票：性、出生・死亡年月日・時間、住所、死因（外 因死の追加事項）等 3. 死産票：死産年月日、性、母の年齢・住所、妊娠週数、 自然・人工の別等 4. 婚姻票：夫婦の生年月、夫の住所、同居年月等 5. 離婚票：夫婦の生年月、住所、種別、同・別居年月等	国 「月報（概数）」 調査票の送付後4か月 「年報（概数）」 平成22年6月頃 県 「保健統計年報」 平成23年3月頃
毎年度	年 度 末 (H. 11 年度)	健康診断、母子保健、歯科保健、健康増進、精神保健福祉、 難病、結核予防、環境衛生、試験検査、職員配置状況等、 老人保健（健康教育・健康相談の実施、基本健康診査、が ん検診）	国 「地域保健・老人保健事 業報告」 平成23年3月頃 県 「保健統計年報」
毎年度	年 度 末	精神衛生、栄養、衛生検査、環境衛生、食品衛生、乳肉衛 生等	国 「衛生行政報告例」 平成22年12月頃 県 「保健統計年報」
隔 年	隔 年 末 (M. 19)	就業医療従事者数等	県 「保健統計年報」
毎 年	月 末 10月1日 現在 (S. 23)	1. 患者票：施設名、所在地、病床数、在院・入・退院患 者数、外来患者延数等 2. 従事者票：従事者数等	国 「医療施設（動態）調査・ 病院報告」 平成22年9月頃 県 「保健統計年報」
毎 年	年 末 (S. 28)	施設番号、施設名、所在地、開設・廃止・休止等年月日、 開設者名、診療科目名、病床数、従事者数、社会保険診療 状況等	国 「医療施設（動態）調査・ 病院報告」 平成22年9月頃 県 「保健統計年報」
毎 年 (3年 毎に大 規模調 査)	平成21年 6月4日 (S. 61)	世帯票：世帯員の性、出生年月、配偶者の有無、医療保険・ 公的年金の加入状況、傷病状況、就業状況、公的 年金・恩給の受給状況等	国 「国民生活基礎調査」 平成22年6月頃

区分	調査名	調査目的	根拠法規等	実施機関の調査系統	調査対象		
					地域	単位	客体数
承認統計	介護サービス施設・事業所調査	全国の介護サービスの提供体制、提供内容等を把握することにより、介護サービスの提供面に着目した基盤整備に関する基礎資料を得る		厚生労働省 県 厚生センター 介護老人保険施設 訪問看護ステーション 居宅サービス事業所	県全域	介護保険施設 訪問看護ステーション 居宅サービス事業所	全数
一般統計	第8回21世紀成年者縦断調査	結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等行政施策の企画立案・実施等のための基礎資料を得る		厚生労働省 県 保健所 厚生センター 調査員 世帯上	平成13年国民生活基礎調査地区から抽出された調査地区	平成14年10月末現在で20～34歳の世帯員及びその配偶者	11地区 約250人
一般統計	第5回中高年者縦断調査	団塊の世代を含む全国の中高年者世代を追跡して、その健康・就業・社会活動の変化の過程を継続的に調査し、高齢者対策の基礎資料とする。		同 上	平成16年国民生活基礎調査地区から抽出された調査地区	平成17年10月末現在で50～59歳である男女	17地区 約350人
一般統計	人口問題基本調査（世帯動態調査）	世帯変動の現状を把握し、将来の動向を予測するための基礎データを得る		同 上	平成21年国民生活基礎調査から抽出された地区	世帯主及び世帯員	全国で約300地区

調査周期	調査実施時期 (初回)	主 な 調 査 事 項	結 果 公 表
毎 年	平成21年 10月1日 (H. 12)	施設・事業所票：施設名、所在地、開設主体、施設サービスの状況、従事者数、職員の勤務体制、居宅サービスの状況等 利用者票：性別、生年月日、要介護度等	国 「介護サービス施設・事業所調査」 平成22年9月頃
毎 年	平成21年 11月4日 (H. 14)	女性票、男性票、配偶者票（女性用）、配偶者票（男性用）の各票共通事項：出生年月、学歴、健康状態、仕事の有無、就業形態、家庭観、子ども観、家事・育児時間、子育て負担感等 他、各票個別事項あり	国 「第8回21世紀成年者縦断調査」
毎 年	平成21年 11月4日 (H. 17)	家族状況、健康状況、就業状況（資格、能力開発等を含む。）、社会活動、住居・家計状況等	国 「第5回中高年者縦断調査」
毎 年	平成21年 7月1日	世帯主及び世帯員間の相互扶助に関する事項等 現在の世帯規模・世帯構成に加え、過去5年間の世帯主経験、親元からの離家、配偶関係の変化等の世帯形成・解体行動	国 「世帯動態調査」

16. 自治医科大学

山間、へき地等における医師確保を図るため。都道府県が共同して設立した自治医科大学に負担金を支出する。

21年度負担金

127,000千円

(1) 卒業生

卒業年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
人数	2	1	2	3	2	2	2	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
卒業年度	14	15	16	17	18	19	20	計																	
人数	1	3	2	2	2	2	6	66																	

(2) 卒業生勤務先

勤務先	総数	義務年限内	義務年限修了
あさひ総合病院	1	1	
黒部市民病院	2	1	1
かみいち総合病院	7	1	6
県立中央病院	15	8	7
富山市立富山市民病院	1		1
高志リハビリテーション病院	1		1
射水市民病院	2		2
金沢医科大学氷見市民病院	1	1	
高岡市民病院	1		1
厚生連高岡病院	1		1
済生会高岡病院	1		1
市立砺波総合病院	1		1
南砺市民病院	1	1	
公立南砺中央病院	1	1	
南砺市利賀診療所	1	1	
南砺市上平診療所	1	1	
富山大学附属病院	1	1	
富山赤十字病院	1		1
独立行政法人国立病院機構富山病院	1	1	
上越地域医療センター病院	1		1
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	1		1
栃木県済生会宇都宮病院	1		1
自治医科大学	1		1
自治医大附属さいたま医療センター	3	1	2
厚生部医務課	2	1	1
中部厚生センター	1		1
砺波厚生センター	1		1
富山県健康増進センター	1		1
トヨタ自動車本社診療所	1		1
参考 大分県・和歌山県、死亡	3	2	1
開業等	9		9
計	66	22	44

(3) 学生数

入学年度	15	16	17	18	19	20	計
人数	2	2	2	2	2	2	12

救 急 医 療 現 況 図

(平成21年4月1日現在)

医 療 圏	初期救急医療体制			在宅当番医師		休日診療センター		在宅当番医師		休日診療センター		在宅当番医師		休日診療センター	
	下新川郡医師会	新川郡医師会	新川区医師会	休日診療	平日夜間	休日昼間	休日夜間	休日診療	平日夜間	休日診療	平日夜間	休日診療	休日診療	平日夜間	休日診療
新 川	○	○	○	9:00~12:00	14:00~17:00	9:00~12:00	19:00~22:00	魚津支部 黒部支部 滑川支部 下新川郡支部 中川郡支部 休日昼間 9:00~17:00	魚津支部 黒部支部 滑川支部 下新川郡支部 中川郡支部 休日昼間 9:00~17:00	○	○	○	○	○	○
富 山	○	○	○	9:00~17:30	17:30~22:00	9:00~17:30	18:30~22:00	富山市歯科医師会 休日昼間 9:00~17:00	富山市歯科医師会 休日昼間 9:00~17:00	○	○	○	○	○	○
高 岡	○	○	○	9:00~18:00	18:00~23:00	9:00~18:00	18:00~23:00	富山県歯科保健医療総合センター 休日昼間 10:00~16:00 休日夜間 18:00~22:00	富山県歯科保健医療総合センター 休日昼間 10:00~16:00 休日夜間 18:00~22:00	○	○	○	○	○	○
砺 波	○	○	○	9:00~17:00	17:00~22:30	9:00~17:00	20:00~22:30	小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00	小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00	○	○	○	○	○	○

在宅当番医師	休日診療センター	休日診療センター	休日診療センター
休日昼間	休日夜間	休日昼間	休日夜間

第2次救急医療体制 病院群輪番制病院 (19病院)

第2次救急医療センター 地域救命センター (2病院)

第3次救急医療体制 救命救急センター (2病院)

救急告示 医療施設

地域救急医療 対策協議会

消防本部

番日部津 入朝黒魚

6 病 院 診 察 所

24時間 365日 黒部市民

休日及び毎夜間 あさひ総合 富山労災 黒部市民

川市山山 滑上立富

21 病 院 診 察 所

24時間365日 県立中央病院

休日及び毎夜間 県立中央 富山市民 富山赤十字 厚生連富山 かみいち総合 富山大学附属

60. 8. 7 股 腫

18 病 院 診 察 所

休日及び毎夜間 厚生連高岡 高岡市民 社会保険高岡 済生会高岡 金沢医科大学 水見市民

休日及び毎夜間 厚生連高岡 高岡市民 社会保険高岡 済生会高岡 金沢医科大学 水見市民

53. 4. 1 股 腫

6 病 院 診 察 所

24時間 365日 市立砺波総合

休日及び毎夜間 市立砺波総合 南砺市民病院 北陸中央

水岡見 射高水

53. 4. 1 股 腫

24時間365日 厚生連高岡病院

休日及び毎夜間 市立砺波総合 南砺市民病院 北陸中央

小矢部 砺波広域圏

6 病 院 診 察 所

24時間 365日 市立砺波総合

休日及び毎夜間 市立砺波総合 南砺市民病院 北陸中央

小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00

小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00

小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00

小矢部支部 砺波支部 南砺支部 休日昼間 9:00~17:00

IV 出 先 機 関

1. 衛 生 研 究 所

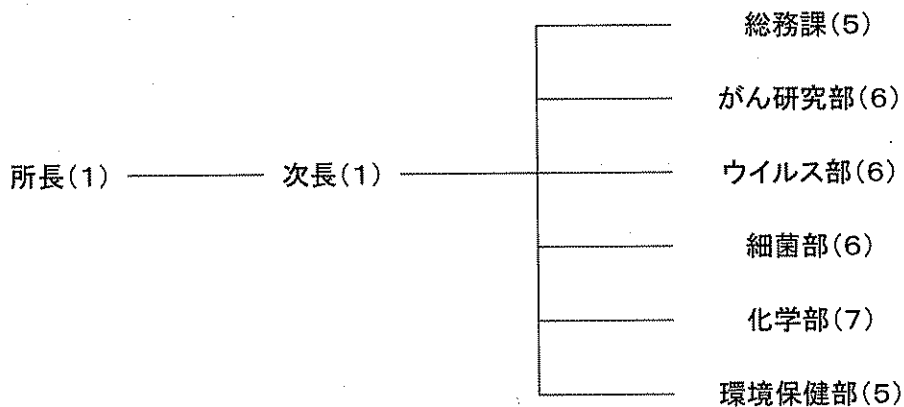
(1) 沿革及び組織

① 沿革

昭和35年4月	衛生研究所設置される。
昭和36年4月	富山県行政組織規則の改正により庶務課・細菌課・ウイルス血清課・食品衛生課・生活環境課が設置される。
昭和37年11月	旧庁舎跡地に新庁舎が新設される。
昭和44年4月	富山県行政組織規則の改正により庶務課・病理生化学部・微生物部・食品科学部・公害調査部に改正される。
昭和46年5月	富山県行政組織規則の改正により庶務係・病理部・ウイルス部・細菌部・化学部・環境保健部に改正される。
昭和55年12月	新庁舎建設着手。
昭和57年6月	小杉町中太閤山に新庁舎完成。
平成元年4月	病理部が、がん研究部に改称される。
平成4年4月	庶務課が総務課に改称される。
平成12年7月	衛生研究所内に富山県感染症情報センターが設置される。
平成14年9月	文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規定第2条第4号の研究機関に指定。
平成15年5月	富山県衛生研究所倫理審査委員会を設置。
平成15年5月	富山県衛生研究所研究評価委員会を設置。
平成16年4月	薬事研究所、環境科学センターと総務課機能を統合。

② 組織

(平成21年3月31日現在)



(2) 職員の状況

(平成21年3月31日現在)

区 分	所・次長 部・課長	技 術 員 技 吏	主 幹 研 究 員	副 主 幹 研 究 員	主 任 研 究 員	研 究 員	再 任 用 主 任	副 主 幹	主 任	業 務 技 師	嘱 託	計
所 長	1											1
次 長	1											1
総 務 課	1							2	1	(1)		4(1)
がん研究部				3		1	2					6
ウイルス部	1				1	3	1					6
細菌部				2	3	1						6
化学部	1			3	2	1						7
環境保健部	1			2	2							5
計	6			10	8	6	3	2	1	(1)		36(1)

() は当所が従の兼務職員数

(3) 施設の概要

① 位 置 射水市中太閤山17-1

② 建物構造及び面積

(平成21年3月31日現在)

建 物	構 造	延 面 積
研 究 棟	鉄筋コンクリート造3階(一部4階)建	3,044.59m ²
〃 (動物飼育)	〃 造平屋建	241.76
車 庫	鉄筋造平屋建	34.56
薬 品 庫	コンクリートブロック造平屋建	20.60
ポ ン ぺ 庫	〃	17.54
R I 排 水 庫	〃	26.65
排 水 処 理 庫	〃	13.57
渡 り 廊 下	鉄筋造	40.50
機 械 室	鉄筋造平屋建	39.24
合 計		3,479.01

③ 庁舎完成年月日 昭和57年6月10日

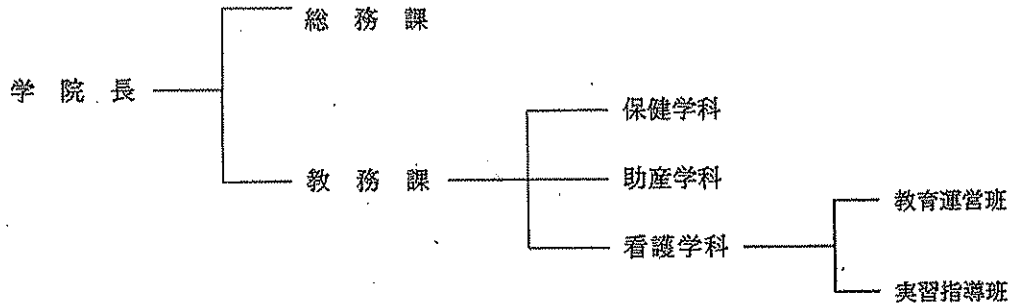
2. 総合衛生学院

(1) 沿革及び組織

① 沿革

昭和23年4月	不二越病院が施設の一部を利用して、私立不二越病院付属甲種看護婦養成所を開所した（定員10名）。
昭和26年4月	富山県に移管され、富山中央病院付属高等看護学院と改称した（定員20名）。
昭和28年3月	独立学院舎竣工
昭和38年4月	学生定員を25名に増員した。
昭和39年4月	富山県立保健婦専門学院を学生定員15名で開院した。
昭和40年4月	高等看護学院に夜間課程の第2部を学生定員20名で新設した。
〃	保健婦専門学院の学生定員を20名に増員した。
昭和44年4月	高等看護学院第1部の学生定員を40名に増員した。
昭和45年5月	保健婦、看護婦の養成機関として新学院舎の建設の着工
昭和46年3月	新学院舎竣工
昭和46年4月	富山県立総合衛生学院に改称し、学生定員を保健学科25名、第1看護学科50名、第2看護学科30名にそれぞれ増員した。また、新たに教務を主掌するため保健婦科、看護婦学科の2科を設け組織の充実をはかった。
昭和49年4月	看護学科生定員を第一看護学科80名、第二看護学科40名にそれぞれ増員。また、助産婦養成課程として学生定員15名の助産学科を新設し、内部組織も保健学科、助産学科及び看護学科の3科に組織替えした。
昭和49年9月	増築校舎の建設工事着工
昭和50年3月	増築校舎竣工
昭和50年4月	第一看護学科学生定員を100名に増員した。また組織も看護学科を第一看護学科、第二看護学科の2科に分科し、4科制にした。
昭和51年4月	学校教育法に基づく専修学校の専門課程に格付けされた。
昭和54年4月	総務課及び教務課の2課制にした。
平成19年7月	別館耐震改修工事に着工
平成20年2月	別館耐震改修工事が竣工し、本館耐震改修工事に着手
平成20年3月	第二看護学科を閉科にした。
平成20年4月	第一看護学科を看護学科に改称し、教育運営班及び実習指導班を置き、3科制にした。
平成21年2月	本館耐震改修工事が竣工

② 組織



(2) 職員の状況

(平成21年4月現在)

区分	学院長	課長	科 班 長	係長	主任	主事	技師	計
学院長	1							1
総務課		1				1		2
教務課		1					2	3
保健学科			1		1		1	3
助産学科			1		2			3
看護学科			1	1	7		1	10
教育運営班								
実習指導班			1		3			4
計	1	2	4	1	13	1	4	26

(3) 施設の概要

ア 敷地 富山市長江2-2-78(県立中央病院敷地内)

3,464.66㎡(使用承認)

イ 施設規模

本館……鉄筋コンクリート造 4階建 4,910㎡(校舎部門)

(昭和46年3月29日竣工・平成21年2月27日耐震改修)

別館……鉄筋コンクリート造 3階建 1,605㎡(校舎部門)

(昭和50年3月31日竣工・平成20年1月22日耐震改修)

(4) 学生の状況

平成21年4月現在

(単位：人)

学年	保健学科				助産学科				看護学科				合計			
	定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
1年	25	1	24	25	15		16	16	100	5	95	100	140	6	135	141
2年	—				—				100	7	104	111	100	7	104	111
3年	—				—				100	10	79	89	100	10	79	89
計	25	1	24	25	25		16	16	300	22	278	300	340	23	318	341

3. 中央病院

(1) 沿革

昭和17年11月1日	不二越鋼材工業株式会社が従業員の厚生施設として現在地に不二越病院を設立
19年4月1日	看護婦養成所設置
23年4月1日	看護婦養成所を不二越病院附属高等看護学院に改称
26年4月1日	不二越病院を富山県立中央病院と改称移管 (総合病院承認、内科、外科、眼科、耳鼻科、歯科、産婦人科、小児科、皮膚科、放射線科、病床 255床)
28年1月1日	丸ノ内分院設置
28年4月1日	結核病棟(第7病棟)竣工 63床
28年12月28日	研究所設置
29年3月1日	精神科開設
29年3月31日	精神病棟(南、中病棟)竣工 54床
31年8月30日	精神病棟(北病棟)竣工 35床
32年8月1日	富山県立中央病院県庁内診療所設置
32年12月20日	西病棟竣工(地上4階建) 204床
35年3月31日	東病棟竣工(地上4階一部5階建) 208床
〃	看護婦宿舎竣工
〃	丸の内分院廃止
35年8月1日	整形外科開設
36年2月1日	基準給食の承認(承認番号第1号)
37年3月31日	中央診療棟竣工(中央検査室、中央手術室、放射線室)
37年4月1日	精神科を神経科に名称変更
38年4月1日	地方公営企業法適用を受ける
38年6月14日	第二外科(胸部外科)開設
38年11月1日	第三外科(脳神経外科)開設
39年5月9日	救急病院指定
40年3月31日	外来診療棟竣工(地上3階建)
40年4月1日	皮膚泌尿器科を皮膚科、泌尿器科に分離
42年10月31日	北病棟竣工・リハビリテーション部門併設(地上5階建) 232床
43年12月1日	がんセンター放射線棟竣工
45年7月1日	循環器科開設
46年3月31日	がんセンター3階増築
46年4月1日	臨床研修指定病院となる
46年8月4日	循環器センター(術後回復室)開設
47年2月1日	基準看護特類承認一般 495床、1類承認結核185床、2類承認精神120床
47年4月1日	基準看護特類承認一般 616床、1類承認結核 64床
47年8月31日	東病棟(第五病棟)竣工(地上4階、塔屋1階建) 120床
47年9月1日	東病棟、西病棟、北病棟を第一病棟、第二病棟、第三病棟に病棟名称改正
48年1月1日	基準看護特類承認精神 120床
48年3月30日	人工透析センター竣工(1階病歴管理室、2階透析センター、廊下棟)
49年10月1日	基準看護特2類承認一般 616床、特1類承認精神 120床
49年11月13日	エネルギー管理棟竣工
50年2月1日	基準看護特1類承認結核 64床
50年2月7日	北陸初の生体腎移植を行う
50年10月1日	富山医科薬科大学医学部の関連教育病院となる
52年4月1日	がんセンター放射線科を放射線治療科へ名称変更
〃	消化器センター部、研修部設置
53年8月31日	看護婦宿舎竣工(定員 60名)
54年7月23日	救急救命センター開設 30床
54年11月1日	基準看護特2類承認一般 630床、特1類承認結核 50床

55年4月1日	へき地医療センター部を健康管理部に改組
〃	神経内科、形成外科開設
〃	神経科を精神科へ名称変更
56年4月1日	機構改革により診療部各科が部長、医療複数制となる
59年9月1日	和漢診療部門（内科）開設
59年10月5日	中央病院基本構想検討委員会設置
61年2月10日	住所を西長江220番地から西長江2丁目2番78号へ表示変更
62年5月15日	中国遼寧省人民医院と友好病院協定締結
62年11月2日	中央病院基本構想検討会より基本構想の最終報告
63年3月29日	臨床修練指定病院となる
平成元年4月1日	がんセンター部にがん研究情報科新設
元年11月24日	改築（第一期）工事起工（病棟部門）
元年12月1日	基準看護特3類承認一般 380床、特2類承認一般 250床
2年8月21日	倫理委員会設置
3年6月19日	県内初の体外受精児誕生
4年4月1日	呼吸器循環器科を呼吸器外科、心臓血管外科に分離
4年5月16日	中央病棟竣工（地上10階、地下1階） 800床
4年6月1日	中央病棟オープン
〃	公立病院では全国初の緩和ケア病棟 15床新設
〃	基準看護特3類承認一般 366床、特2類承認一般 294床
4年8月7日	県内初の骨髄移植の実施
4年10月1日	基準看護特3類承認一般 660床、特2類承認精神 120床
4年12月18日	改築（第二期）工事起工（診療棟部門）
5年3月1日	基準看護特3類承認一般 645床、緩和ケア病棟承認 15床
6年8月3日	腎移植再開
6年10月1日	新看護体系2：1承認一般 645床、3：1承認結核 20床、精神 120床
6年11月8日	公立病院では北陸初の顕微授精出産
7年3月1日	新看護体系2：1承認結核 20床
7年4月20日	診療棟竣工（地上5階、地下1階）
7年5月11日	診療棟オープン
8年4月4日	当院初の死体腎移植
8年10月1日	母子医療センター開設
9年7月1日	精神科救急の実施
11年1月1日	新看護体系2：1承認一般 710床、3：1承認精神 80床
12年10月1日	診療情報の提供
12年11月1日	県内初の臍帯血移植の実施
14年3月	中期経営計画策定
14年12月9日	地域がん診療拠点病院に指定
15年12月15日	(財)日本医療機能評価機構（病院機能評価）の認定取得：JC86号
16年3月31日	臨床研修病院に指定
16年8月6日	ユニセフ・WHO「赤ちゃんに優しい病院」(BFH)認定取得
16年10月7日	女性専門外来開設
17年4月1日	NICU（新生児特定集中治療室）を3床から6床に増床
〃	医療安全管理室設置
18年3月26日	全国44例目 北陸初の脳死下での臓器摘出手術を実施
18年4月1日	セカンドオピニオン外来開設
18年7月	第二次中期経営計画策定
18年8月24日	都道府県がん診療連携拠点病院に指定
19年2月5日	助産師外来開設
19年2月9日	富山県がん診療連携協議会設置
19年4月2日	電子カルテ等新病院情報システムの運用開始
19年10月4日	がん患者5年生存率を公表
20年3月3日	肝疾患診療連携拠点病院選定
20年4月1日	緩和ケア病床の増床（18床→25床） 通院治療室（外来化学療法）の開設
20年7月1日	NICU（新生児特定集中治療室）の増床（18床→25床）

(3) 職員数 (平成21年3月31日現在)

(単位:人)

	職 種	人 数	計
医 師	医 師	106	156
	常 勤 臨 時	9	
	レ ジ デ ン ト	7	
	臨 床 研 修 医	34	
医 療 技 術 職 員	管 理 栄 養 士	5	112
	理 学 診 療 士	7	
	作 業 療 法 士	3	
	マ ッ サ ー ジ 師	0	
	歯 科 技 工 士	2	
	歯 科 衛 生 士	2	
	放 射 線 技 師	24	
	臨 床 工 学 技 士	7	
	臨 床 検 査 技 師	40	
	薬 剤 師	22	
看 護 職 員	助 産 師	57	592
	看 護 師	490	
	准 看 護 師	0	
	臨 時 的 任 用 職 員	45	
事 務 職 員	一 般 事 務	31	42
	病 院 事 務	8	
	社 会 福 祉 主 事	2	
	心 理 判 定 員	1	
技 能 職 員	運 転 手	1	37
	守 衛	0	
	汽 かん 員	6	
	電 気 技 術 員	6	
	調 理 員	18	
	看 護 助 手	3	
	そ の 他	3	
合 計			939

(4) 施設の概要 (平成21年3月31日)

位 置 富山県富山市西長江2丁目2番地78号 (Tel.076-424-1531代)

土 地 69,494.99㎡

建 物	{	建築面積	15,355.83 ㎡
		延床面積	63,920.04 ㎡

(5) 病棟

(単位：床)

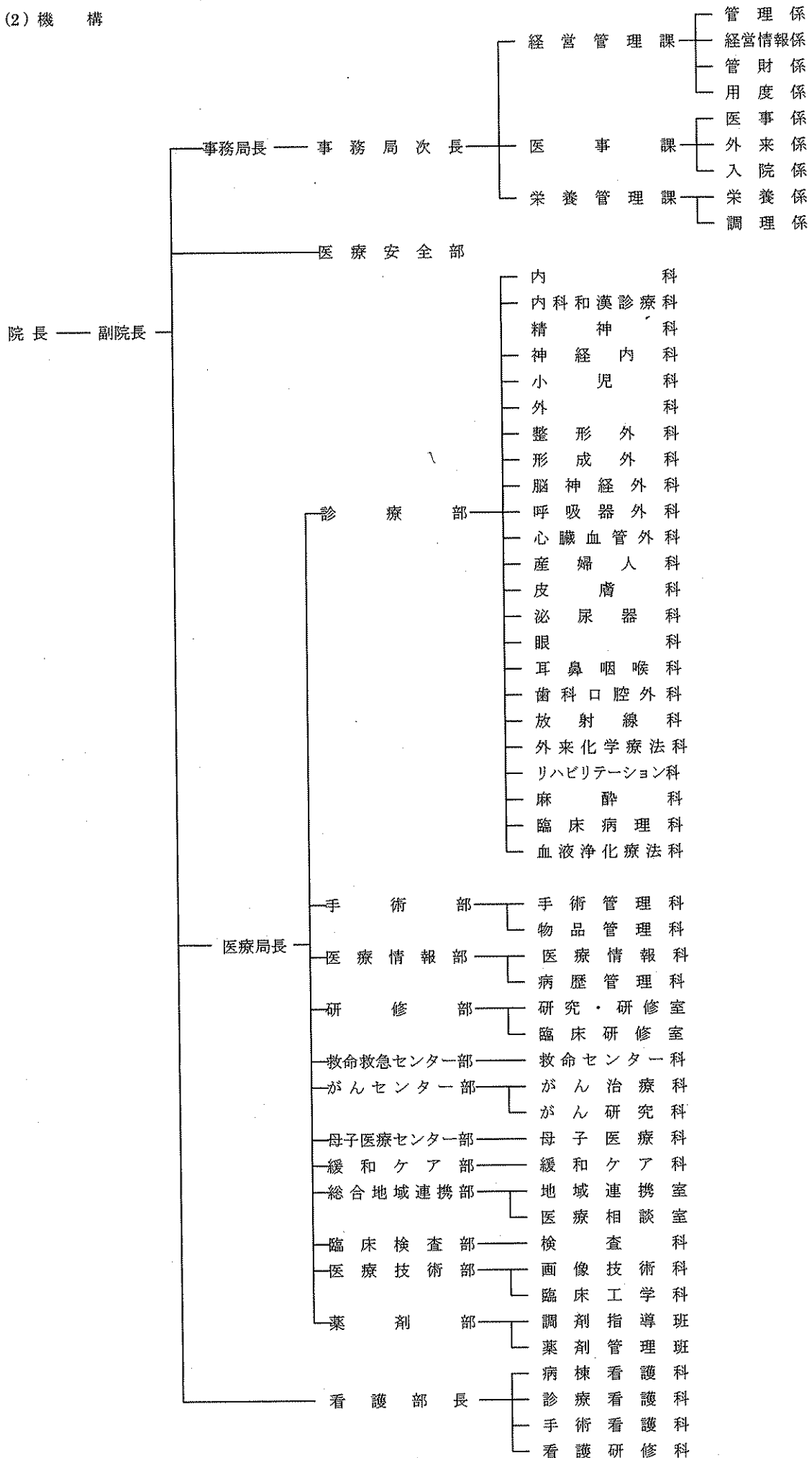
病棟名	病床数	診療科別
中央病棟 2階南	42	産科、婦人科 (MFICU)
北	28	小児科
NICU	23	うち新生児特定集中治療管理室6
3階南	44	外科
北	44	外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
4階南	46	心臓血管外科、呼吸器外科、RI (放射線治療)
北	30	全科 (ICU、CCU)
5階南	45	整形外科
北	45	整形外科、麻酔科、神経内科
6階南	40	内科 (内分泌、腎臓・高血圧)
北	45	脳神経外科、神経内科、内科 (消化器)
7階南	47	内科 (循環器)、泌尿器科、皮膚科
北	43	婦人科、形成外科、眼科、皮膚科
8階南	45	内科 (血液、消化器)
北	45	内科 (消化器)
9階南	48	内科 (呼吸器、和漢、結核20)
北	25	緩和ケア
東病棟 2・3階	80	精神科

(6) 病床数の推移

(単位：床)

年月日	一般	結核	精神	伝染	計	備考
昭和26年4月1日	161	70	—	24	255	
26年12月1日	161	150	—	24	335	結核 80床増
27年9月1日	194	150	—	24	368	一般 33床増
28年4月1日	196	213	—	22	431	結核 63床増 一般 2床増 伝染 2床減
29年3月1日	99	310	54	22	485	結核 97床増 一般 97床減 精神 54床増
29年4月1日	156	355	54	22	587	結核 45床増 一般 57床増
31年12月1日	156	355	89	22	622	精神 35床増
33年1月1日	268	343	89	22	722	結核 12床減 一般 112床増
33年7月1日	407	234	89	22	752	結核 109床減 一般 139床増
35年2月1日	535	154	89	22	800	結核 80床減 一般 128床増
35年3月1日	504	154	120	22	800	一般 31床減 精神 31床増
35年11月1日	473	207	120	—	800	結核 53床増 一般 31床減 伝染 22床減
46年4月1日	495	185	120	—	800	結核 22床減 一般 22床増
47年4月1日	616	64	120	—	800	結核 121床減 一般 121床増
54年11月1日	630	50	120	—	800	結核 14床減 一般 14床増
平成4年6月1日	660	20	120	—	800	結核 30床減 一般 30床増
8年10月1日	670	20	120	—	810	一般 10床増
11年1月1日	710	20	80	—	810	一般 40床増 精神 40床減
22年4月1日	665	20	80	—	765	一般 45床減

(2) 機 構



V 医療の動向

1. 医療機関

(1) 医療施設

① 病院（医療施設調査による）

平成20年10月1日現在の本県の病院数は113施設で、前年に比べ2施設減少した。

人口10万対病院数を全国と比べると、本県は10.3施設（全国6.9施設）で全国10位となっている。

病院の種類別では、一般病院が94施設、精神科病院が19施設となっている。

開設者別では、医療法人が最も多く、全体の65.5%（74施設）を占め、次いで個人9.7%（11施設）となっている。

病床数は、18,002床で前年に比べ149床減少した。

人口10万対病床数を全国と比べると、本県は1,635.1床（全国1,260.4床）で、全国13位となっている。

開設者別では、医療法人が最も多く、全体の45.6%（8,207床）を占め、次いで市町村18.8%（3,385床）、個人6.8%（1,221床）となっている。

② 一般診療所（医療施設調査による）

平成20年10月1日現在の本県の一般診療所数は774施設で、前年と同数である。

人口10万対一般診療所数を全国と比べると、本県は70.3施設（全国77.6施設）で全国36位となっている。

開設者別では、個人が最も多く、全体の59.8%（463施設）で、次いで医療法人22.0%（170施設）となっている。

病床数は、1,255床で前年に比べ86床減少した。

人口10万対病床数を全国と比べると、本県は114.0床（全国114.8床）で、全国28位となっている。

開設者別では、個人が最も多く、全体の52.4%（658床）となっている。

③ 歯科診療所（医療施設調査による）

平成20年10月1日現在の本県の歯科診療所数は459施設で、前年に比べ5施設減少した。

人口10万対歯科診療所数を全国と比べると、本県は41.7施設（全国53.1施設）で全国41位となっている。

開設者別では、個人が最も多く、全体の88.5%（406施設）となっている。

表1 施設数・人口10万対施設数

施設の種類・年次別

	病 院								一般診療所		歯科診療所	
	総 数		精神科病院		結核療養所		一般病院		施設数	人 口 10 万 施設数	施設数	人 口 10 万 施設数
	施設数	人 口 10 万 施設数	施設数	人 口 10 万 施設数	施設数	人 口 10 万 施設数	施設数	人 口 10 万 施設数				
S30	69	6.8	5	0.5	3	0.3	61	6.0	601	58.9	199	19.5
35	78	7.6	6	0.6	3	0.3	69	6.7	645	62.4	213	20.6
40	88	8.6	9	0.9	2	0.2	77	7.5	680	66.3	219	21.4
45	124	12.0	17	1.7	2	0.2	105	10.2	720	69.9	232	22.5
50	125	11.7	17	1.6	-	-	108	10.1	741	69.2	252	23.5
55	136	12.3	17	1.5	-	-	119	10.8	740	67.1	280	25.4
60	149	13.3	18	1.6	-	-	131	11.7	717	64.1	327	29.2
H2	145	12.9	18	1.6	-	-	127	11.3	709	63.3	377	33.7
7	120	10.7	18	1.6	-	-	102	9.1	749	66.7	400	35.6
12	116	10.3	18	1.6	-	-	98	8.7	766	68.3	436	38.9
13	115	10.3	18	1.6	-	-	97	8.7	779	69.5	447	39.9
14	114	10.2	18	1.6	-	-	96	8.6	772	69.0	455	40.7
15	115	10.3	19	1.7	-	-	96	8.6	785	70.3	459	41.1
16	115	10.3	19	1.7	-	-	96	8.6	780	69.8	460	41.2
17	115	10.3	19	1.7	-	-	96	8.6	782	70.3	467	42.0
18	116	10.5	19	1.7	-	-	97	8.7	783	70.5	465	41.9
19	115	10.4	19	1.7	-	-	96	8.7	774	70.0	464	42.0
20	113	10.3	19	1.7	-	-	94	8.5	774	70.3	459	41.7
全国	8,862	6.9	1,076	0.8	1	0.0	7,785	6.1	99,532	77.9	67,798	53.1
19	8,794	6.9	1,079	0.8	1	0.0	7,714	6.0	99,083	77.6	67,779	53.1

[注] 昭和55年までは12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在

表2 病床数・人口10万対病床数

病床の種類・年次別

	病 院												一般診療所			
	総 数		精神病床		結核病床		感染症病床		その他の病床 等		一般病床		療養病床		病床数	人 口 10 万 病床数
	病床数	人 口 10 万 病床数	病床数	人 口 10 万 病床数	病床数	人 口 10 万 病床数	病床数	人 口 10 万 病床数	病床数	人 口 10 万 病床数	病床数	人 口 10 万 対病床数				
S30	6,172	604.5	573	56.1	2,831	277.3	358	35.1	2,410	236.0	1,821	178.4
35	7,939	768.5	1,028	99.5	2,606	252.3	286	27.7	4,019	389.1	2,175	210.6
40	9,513	928.1	1,769	172.6	2,296	224.0	277	27.0	5,171	504.5	2,369	231.1
45	11,890	1,154.4	2,940	285.4	1,772	172.0	304	29.5	6,874	667.4	3,047	295.8
50	13,087	1,221.9	3,438	321.0	1,340	125.1	251	23.4	8,058	752.4	3,400	317.5
55	14,907	1,351.5	3,547	321.6	867	78.6	208	18.9	10,285	932.5	3,594	325.8
60	17,811	1,593.1	3,621	323.9	618	55.3	147	13.1	13,425	1,200.8	3,525	315.3
H2	18,761	1,675.1	3,699	330.3	565	50.4	126	11.3	14,371	1,283.1	3,495	312.1
7	17,743	1,580.0	3,656	325.6	170	15.1	126	11.2	13,791	1,228.0	3,194	284.4
12	18,325	1,634.9	3,632	324.0	107	9.5	20	1.8	14,566	1,299.5	2,178	194.3
13	18,102	1,614.8	3,626	323.5	107	9.5	20	1.8	14,349	1,280.0	2,020	180.2
14	18,239	1,629.9	3,649	326.1	107	9.6	20	1.8	14,463	1,292.5	1,726	154.2
15	18,374	1,644.9	3,627	324.7	107	9.6	20	1.8	.	.	9,273	830.2	5,347	478.7	1,637	146.6
16	18,346	1,642.4	3,600	322.3	107	9.6	20	1.8	.	.	9,272	830.1	5,347	478.7	1,587	142.1
17	18,336	1,649.3	3,599	323.7	112	10.1	20	1.8	.	.	9,258	832.8	5,347	481.0	1,479	133.0
18	18,255	1,644.6	3,534	318.4	112	10.1	20	1.8	.	.	9,202	829.0	5,387	485.3	1,431	128.9
19	18,151	1,641.1	3,502	316.6	112	10.1	20	1.8	.	.	9,132	825.7	5,385	486.9	1,341	121.2
20	18,002	1,635.1	3,452	313.5	106	9.6	20	1.8	.	.	9,094	826.0	5,330	484.1	1,225	114.0
全国	1,620,173	1,268.0	351,188	274.9	10,542	8.3	1,809	1.4	.	.	913,234	714.7	343,400	268.8	155,143	121.4
19	1,609,403	1,260.4	349,321	273.6	9,592	7.4	1,785	1.4	.	.	909,437	717.2	339,358	265.8	146,568	114.8

- [注]
1. 昭和55年までは12月31日現在、昭和60年以降は10月1日現在
 2. 平成7年までは伝染病床、平成12年以降は感染症病床
 3. その他の病床等には、療養病床、一般病床及び経過的旧その他の病床を含む

表3 開設者別施設数、病床数

(平成20年10月1日現在)

	施設数						病床数			
	病院		一般診療所		歯科診療所		病院		一般診療所	
	施設数	構成比	施設数	構成比	施設数	構成比	病床数	構成比	病床数	構成比
総数	113	100.0	774	100.0	459	100.0	18,002	100.0	1,255	100.0
国(独立行政法人 国立病院機構)	2	1.7	-	-	-	-	574	3.2	-	-
(その他)	2	2.6	4	0.5	-	-	912	5.3	14	1.0
県	3	2.6	3	0.4	-	-	1,036	5.7	-	-
市町村	10	9.6	14	1.6	1	0.2	3,385	19.0	5	0.4
日赤	1	0.9	2	0.3	-	-	435	2.7	-	-
済生会	2	1.7	-	-	-	-	520	2.9	-	-
厚生連	2	1.7	-	-	-	-	960	5.3	-	-
社会保険関係団体	2	1.7	2	0.3	-	-	398	2.2	-	-
公益法人	-	-	7	0.7	1	0.2	-	-	-	-
医療法人	74	61.7	170	21.3	51	10.3	8,207	43.9	576	47.1
学校法人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉法人	1	0.9	83	10.7	-	-	54	0.3	2	0.2
医療生協	1	0.9	2	0.3	-	-	190	1.0	-	-
会社	2	0.9	22	3.0	-	-	110	0.3	-	-
その他の法人	-	-	2	0.3	-	-	-	-	-	-
個人	11	13.0	463	60.9	406	89.2	1,221	8.2	658	51.3
医育機関(再掲)	1	0.9	-	-	-	-	612	3.4	-	-

(2) 患者数（病院報告による）

平成20年中の病院における在院患者延数（年間）は、表5、表6に示すとおりで、1日平均在院患者数は、15,205人で、前年より196人の減少となっている。

病床別では、一般病床の患者が最も多く、44.6%を占め、次いで療養病床の患者33.5%、精神病床の患者21.6%となっている。

患者の平均在院日数は、全体で38.4日であるが、病床別にみると、精神病床の352.8日、療養病床の200.5日と両病床に長期在院患者が多い。

病床利用率は、全体で84.0%、療養病床97.4%、精神病床86.7%、一般病床77.6%となっている。

外来患者数は、1日平均15,482人で、前年より646人減少している。病院別では、一般病院の外来患者が全体の95.9%を占めている。

表5 病院患者数

(平成20年)

区 分	病 床 数 (実 数)	在 院 患 者 数		外 来 患 者 数		病 床 利 用 率 (%)	平 均 在 院 日 数 (日)
		年 間 延 数	1 日 平 均 数 (365日)	年 間 延 数	1 日 平 均 数 (365日)		
総 数	18,075	5,549,934	15,205	5,438,191	14,899	84.0	38.4
精神科病院	2,497	883,214	2,420	223,422	612	96.6	519.4
一般病院	15,578	4,666,720	12,786	5,214,769	14,287	82.0	32.7
精神病床	1,005	313,692	859	-	-	86.7	185.4
結核病床	112	18,928	52	-	-	47.0	100.7
感染症病床	20	31	0	-	-	0.4	4.4
療養病床	5,330	1,861,239	5,099	-	-	97.4	200.5
一般病床	9,111	2,472,830	6,775	-	-	77.6	18.3
(再掲)							
精神病床	3,502	1,196,906	3,279	-	-	93.8	352.8

※病床数は、平成20年6月末現在

表6 病院患者数の年次推移

年次	患者数				1日平均患者数(人口10万対)				病床利用率(%)	平均在院日数(日)
	在院	新入院	退院	外来	在院	新入院	退院	外来		
昭和30	1,691,870	33,527	33,156	2,493,333	454.0	9.0	8.9	814.0	79.0	50.7
35	2,212,525	47,442	47,254	3,211,030	585.2	12.5	12.5	1,032.5	77.3	46.7
40	2,711,370	60,920	60,902	3,602,658	724.7	16.3	16.3	1,167.7	78.6	44.5
45	3,300,459	70,828	70,857	4,444,906	877.9	18.8	18.8	1,453.0	76.6	46.6
50	3,682,040	72,646	72,365	4,441,762	941.9	18.6	18.5	1,401.1	77.8	50.8
55	4,503,651	78,090	77,344	4,928,896	1,115.6	19.3	19.2	1,504.6	84.2	57.9
60	5,654,842	91,006	90,390	5,601,542	1,385.6	22.3	22.2	1,687.0	87.9	62.3
平成2	6,121,530	102,700	102,840	6,740,039	1,497.4	25.1	25.2	2,046.9	89.3	59.6
7	5,808,309	115,967	115,697	6,907,017	1,417.0	28.3	28.2	2,084.9	88.6	50.1
8	5,824,155	119,136	119,368	7,011,954	1,413.2	28.9	29.0	2,111.0	90.4	48.8
9	5,810,427	121,871	121,836	6,990,208	1,413.8	29.7	29.6	2,111.6	90.4	47.7
10	5,825,156	128,703	128,725	6,989,385	1,417.3	31.3	31.3	2,111.3	89.3	45.3
11	5,919,273	131,831	131,370	6,931,909	1,441.5	32.1	32.0	2,095.8	90.0	45.0
12	6,070,992	137,574	137,304	7,251,581	1,479.9	33.5	33.5	1,767.7	90.7	44.2
13	6,054,306	136,367	136,368	7,352,071	1,479.7	33.3	33.3	1,796.8	90.9	44.4
14	6,062,136	140,670	140,602	6,975,693	1,484.2	34.4	34.4	1,707.9	90.5	43.1
15	6,053,235	146,410	146,675	6,752,198	1,484.7	35.9	36.0	1,656.1	90.1	41.3
16	6,024,043	145,889	145,984	6,454,235	1,473.5	35.7	35.7	1,578.7	89.7	41.3
17	5,964,043	145,787	145,754	6,137,335	1,469.8	35.9	35.9	1,512.5	89.2	40.9
18	5,826,263	149,084	150,025	5,886,560	1,438.1	36.8	37.0	1,452.9	87.4	39.0
19	5,621,213	147,468	147,818	5,650,749	1,392.5	36.5	36.6	1,399.8	84.8	38.1
20	5,549,934	144,492	144,758	5,548,191	1,377.3	35.9	35.9	1,349.5	84.0	38.4
全国 19年	486,419,159	14,272,890	14,286,698	540,682,685	1,043.0	30.6	30.6	1,159.4	82.2	34.1
20	482,395,353	14,273,548	14,296,320	523,861,651	1,032.2	30.5	30.6	1,120.9	81.7	33.8

(3) 介護老人保健施設(介護サービス施設・事業所調査による)

平成19年10月1日現在の施設数は43で、9月末の在患者数は3,748人となっている。

(4) 訪問看護ステーション(介護サービス施設・事業所調査による)

平成19年10月1日現在の事業所数は33で、9月中の利用者数は1,640人となっている。

2. 医療従事者

(1) 医師

平成20年末現在の医師数は2,642人で、前回の平成18年末に比べて3人の減少である。人口10万対の医師数は240.0で全国の224.5に比べやや高く、全国19位となっている。

業務の種類別にみた医師数は表1のとおりで、医療施設の従事者が2,462人で最も多く、全体の93.2%を占めている。

医療従事医師を診療科名別に延数で見ると、表2のとおりで、内科が903人(36.7%)で最も多く、次いで、小児科(10.0%)、整形外科(9.8%)の順となっている。

表1 業務の種類別医師数

(平成20年末)

区 分	医 師 数	構 成 割 合 (%)	
		県	全国
総 数	2,642	100.0	100.0
医療施設の従事者	2,462	93.2	94.8
医療施設の開設者	676	25.6	27.0
(病 院)	74	2.8	1.9
(診 療 所)	602	22.8	25.1
医療施設の勤務者	1,786	67.6	67.9
(医 育 機 関 附 属 以 外 の 病 院)	1,280	48.4	42.7
(診 療 所)	175	6.6	9.0
(医 育 機 関 附 属 の 病 院)	331	12.5	16.2
介護老人保健施設の従事者	45	1.7	1.1
介護老人保健施設の開設者	5	0.2	0.1
介護老人保健施設の勤務者	40	1.5	1.0
医療・介護老人保健施設以外の従事者	60	2.3	3.1
その他(他の業務・無職)	75	2.8	1.0

資料 「医師・歯科医師・薬剤師調査」(従業地による)

表2 診療科名（複数回答）別医師数

（平成20年末）

診療科	医療施設 の 従事者	医療従事医師数に対する割合（％）	
		県	全 国
総 数	2,462		
内 科	903	36.7	32.0
呼 吸 器 内 科	100	4.1	4.6
循 環 器 内 科	173	7.0	8.0
消化器内科（胃腸内科）	228	9.3	10.6
腎 臓 内 科	40	1.6	1.4
神 経 内 科	41	1.7	2.4
糖尿病内科（代謝内科）	49	2.0	2.0
血 液 内 科	13	0.5	0.9
皮 膚 科	111	4.5	5.3
ア レ ル ギ ー 科	50	2.0	2.3
リ ウ マ チ 科	40	1.6	2.1
感 染 症 内 科	7	0.3	0.3
小 児 科	246	10.0	11.0
精 神 科	129	5.2	5.5
心 療 内 科	30	1.2	1.9
外 科	215	8.7	10.6
呼 吸 器 外 科	23	0.9	0.7
心 臓 血 管 外 科	28	1.1	1.2
乳 腺 外 科	14	0.6	0.7
気 管 食 道 外 科	25	1.0	0.4
消化器外科（胃腸外科）	62	2.5	2.7
泌 尿 器 科	66	2.7	3.1
肛 門 外 科	37	1.5	1.7
脳 神 経 外 科	70	2.8	2.6
整 形 外 科	241	9.8	8.9
形 成 外 科	16	0.6	1.2
美 容 外 科	3	0.1	0.3
眼 科	105	4.3	4.8
耳 鼻 い ん こ う 科	87	3.5	3.4
小 児 外 科	11	0.4	0.4
産 婦 人 科	95	3.9	3.8
産 科	3	0.1	0.2
婦 人 科	13	0.5	0.9
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	151	6.1	6.1
放 射 線 科	72	2.9	3.4
麻 酔 科	78	3.2	3.4
病 理 診 断 科	15	0.6	0.5
臨 床 検 査 科	7	0.3	0.2
救 急 科	21	0.9	0.9
臨 床 研 修 医 科	103	4.2	5.4
全 科	3	0.1	0.1
そ の 他	55	2.2	1.4
不 詳	3	0.1	0.2

資料 「医師・歯科医師・薬剤師調査」（従業地による）

(2) 歯科医師

平成20年末現在の歯科医師数は648人で、前回の平成18年末に比べ11人の増加である。人口10万対の歯科医師数は58.9で、全国の77.9に比べてかなり低く、全国39位となっている。

業務の種類別にみた歯科医師数は表3のとおりで、医療施設の開設者が433人で最も多く、次いで診療所の勤務者が140人となっている。

表3 業務の種類別歯科医師数

(平成20年末)

区 分	歯科医師数	構成割合 (%)	
		県	全 国
総 数	648	100.0	100.0
医療施設の従事者	613	94.6	97.2
医療施設の開設者	433	66.8	59.9
医育機関附属以外の病院の勤務者	20	3.1	2.9
診療所の勤務者	140	21.6	25.2
医育機関附属の病院の勤務者	20	3.1	9.2
医療施設以外の従事者	4	0.6	1.4
その他(他の業務・無職)	31	4.8	1.4

※総数には業務の種類不詳を含む

資料 「医師・歯科医師・薬剤師調査」(従業地による)

(3) 薬 剤 師

平成20年末現在の薬剤師数は3,048人で、前回の平成18年末に比べ17人の増加である。人口10万対の薬剤師数は276.8で、全国の209.7に比べてかなり高く、全国3位となっている。ただし、薬局・医療施設の従事者に限定してみると、全国の145.7に対して本県は134.3と低く、全国28位となっている。

業務の種類別にみた薬剤師数は表4のとおりで、薬局の勤務者が最も多く、次いで医薬品製造従事者となっている。また、本県は全国と比べ、医薬品製造従事者の占める割合が高いという特徴がある。

表4 業務の種類別薬剤師数 (平成20年末)

区 分	薬 剤 師 数	構 成 割 合 (%)	
		県	全 国
総 数	3,048	100.0	100.0
薬 局 ・ 医 療 施 設 の 従 事 者	1,479	48.5	69.5
薬 局 の 開 設 者	139	4.6	7.2
薬 局 の 勤 務 者	768	25.2	43.5
病 院 又 は 診 療 所 の 従 事 者	572	18.8	18.8
薬 局 ・ 医 療 施 設 以 外 の 従 事 者	1,103	36.2	23.6
大 学 で 教 育 又 は 研 究 に 従 事 す る 者	167	5.5	3.5
衛 生 行 政 機 関 又 は 保 健 衛 生 施 設 従 事 者	100	3.3	2.3
医 薬 品 製 造 従 事 者	621	20.4	11.5
医 薬 品 販 売 従 事 者	215	7.1	6.3
そ の 他 (他 の 業 務 ・ 無 職)	466	15.3	6.9

※総数には業務の種類不詳を含む

資料 「医師・歯科医師・薬剤師調査」 (従業地による)

表5 就業医師・歯科医師・薬剤師の年次推移

区分 年次	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	率 (人口10万対)					
				医 師		歯 科 医 師		薬 剤 師	
				県	全 国	県	全 国	県	全 国
昭40	987	264	903	96.3	108.3	25.8	35.1	88.1	56.7
45	1,057	286	938	102.6	113.0	27.8	35.6	91.1	62.8
50	1,129	313	1,098	105.4	117.0	29.2	38.0	102.5	68.9
55	1,406	352	1,306	127.4	132.1	31.9	44.7	118.4	81.4
59	1,659	403	1,470	148.7	149.1	36.1	51.5	131.7	90.4
63	1,894	461	1,687	169.0	162.9	41.1	56.6	150.5	99.7
平2	1,974	474	1,753	176.3	170.0	42.3	59.1	156.5	105.7
4	2,050	480	1,858	183.0	175.2	42.9	61.3	165.9	113.8
6	2,118	497	1,958	188.8	182.9	44.3	63.9	174.5	126.1
8	2,234	526	2,102	198.4	189.9	46.7	67.0	186.7	139.1
10	2,306	547	2,184	204.8	194.9	48.6	68.7	194.0	148.4
12	2,400	562	2,281	214.1	199.8	50.1	70.7	203.5	157.6
14	2,468	578	2,424	220.6	204.4	51.6	72.1	216.6	167.0
16	2,493	601	2,528	223.2	209.8	53.8	73.6	226.3	175.1
18	2,554	609	2,544	230.1	215.3	54.9	75.1	229.2	183.5
20	2,567	617	2,582	233.2	222.3	56.0	76.8	234.5	195.2

資料 「医師・歯科医師・薬剤師調査」 (従業地による)

(昭和57年以降 2年毎に実施)

(4) 保健師

平成20年末現在の就業届出数は538人で、前回の平成18年末に比べて45人の減少である。人口10万対では48.9（全国34.0）で、全国11位となっている。

就業先別にみた保健師数は表6のとおりで、市町村が281人（52.2%）で最も多くなっている。

表6 就業先別保健師数

区 分	実 数		構 成 割 合 (%)			
	18年	20年	18 年		20 年	
			県	全国	県	全国
総 数	493	538	100.0	100.0	100.0	100.0
保 健 所	83	81	16.8	17.9	15.1	15.9
市 町 村	270	281	54.8	58.4	52.2	55.9
病 院 ・ 診 療 所	43	71	8.7	7.9	13.2	9.6
事 業 所	14	23	2.8	6.1	4.3	8.1
そ の 他	83	82	16.8	9.8	15.2	10.4

資料 「衛生行政報告例」（2年毎に実施）

(5) 助産師

平成20年末現在の就業届出数は352人で、前回の平成18年末に比べて55人の増加である。人口10万対では32.0（全国21.8）で、全国1位となっている。

就業先別にみた助産師数は表7のとおりで、病院が255人（72.4%）と最も多くなっている。

表7 就業先別助産師数

区 分	実 数		構 成 割 合 (%)				
	18 年	20 年	18 年		20 年		
			県	全国	県	全国	
総 数	297	352	100.0	100.0	100.0	100.0	
病 院	213	255	71.7	67.3	72.4	65.4	
診 療 所	50	62	16.8	19.2	17.6	20.5	
助産所	開設者・従事者	8	5	2.7	3.7	1.4	3.9
	出張のみの者	4	3	1.3	2.3	0.9	2.1
そ の 他	22	27	7.4	7.5	7.7	8.2	

資料 「衛生行政報告例」（2年毎に実施）

(6) 看護師・准看護師

平成20年末現在の就業届出数は、看護師9,400人、准看護師3,785人、計13,185人である。これは前回の平成18年末に比べて309人の増加である。人口10万対では看護師が、853.8（全国687.0）で全国17位、准看護師が、343.8（全国293.7）で全国24位となっている。

就業先別にみた数は表8のとおりで、病院が8,903人（67.5%）で最も多く、次いで診療所の1,975人（15.0%）となっている。

また、看護師、准看護師の割合は、本県では昭和52年を境に逆転し、現在は看護師の占める割合が准看護師の占める割合を大きく上回っている。

表8 就業先別看護師・准看護師数

区 分		実 数		構 成 割 合 (%)			
		18 年	20 年	18 年		20 年	
				県	全 国	県	全 国
総 数		12,876	13,185	100.0	100.0	100.0	100.0
病 院		8,691	8,903	67.5	67.2	67.5	66.8
診 療 所		1,912	1,975	14.8	18.6	15.0	18.4
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン		204	216	1.6	2.3	1.6	2.2
介 護 老 人 保 健 施 設		523	432	4.1	3.0	3.3	3.1
そ の 他		1,546	1,659	12.0	8.9	12.6	9.5
内 訳	看 護 師	8,969	9,400	69.7	68.0	71.3	70.0
	准 看 護 師	3,907	3,785	30.3	32.0	28.7	30.0

資料 「衛生行政報告例」（2年毎に実施）

表9 就業保健師・助産師・看護師・准看護師の年次推移

区分 年次	保健師	助産師	看護師 ・ 准看護師	率 (人口10万対)					
				保健師		助産師		看護師 准看護師	
				県	全国	県	全国	県	全国
昭40	190	411	2,615	18.5	14.2	40.1	44.0	255.1	249.5
45	211	285	3,594	20.5	13.5	27.7	27.1	348.9	263.8
50	234	276	4,513	21.8	14.3	25.8	23.9	421.4	323.0
55	244	305	5,870	22.1	15.3	27.6	22.1	532.2	416.2
59	282	338	6,978	25.3	17.3	30.3	20.5	625.3	490.5
61	297	340	7,413	26.5	18.1	30.4	19.8	662.5	526.0
63	331	340	7,867	29.5	19.2	30.3	19.0	701.8	566.0
平2	363	314	8,296	32.4	20.5	28.0	18.5	740.7	602.9
4	366	317	8,879	32.7	21.6	28.3	18.2	792.8	639.4
6	372	331	9,394	33.2	23.2	29.5	18.4	837.2	689.4
8	375	331	9,879	33.3	25.1	29.4	18.8	877.4	738.0
10	426	333	10,443	37.8	27.3	29.6	19.1	927.4	779.4
12	457	343	11,116	40.8	29.0	30.6	19.3	991.7	821.3
14	471	323	11,863	42.1	30.0	28.9	19.0	1,060.1	861.1
16	494	291	12,384	44.2	30.7	26.1	19.8	1,108.7	897.6
18	493	297	12,876	44.4	31.5	26.8	20.2	1,160.0	934.6
20	538	352	13,185	48.9	34.0	32.0	21.8	1,197.5	980.7

資料 「衛生行政報告例」 (昭和57年以降2年毎に実施)

(7) 歯科衛生士

平成20年末現在の就業届出数は904人で、前回の平成18年末に比べて70人の増加である。人口10万対では82.1（全国75.5）で、全国21位となっている。

就業先別にみた歯科衛生士は表10のとおりで、診療所が829人（91.7）で最も多く、次いで病院の49人（4.9%）となっている。

表10 就業先別歯科衛生士数

区 分	実 数		構 成 割 合 (%)			
	18 年	20 年	18 年		20 年	
			県	全 国	県	全 国
総 数	834	904	100.0	100.0	100.0	100.0
病 院	49	49	5.9	4.9	5.4	4.7
診 療 所	755	829	90.5	90.3	91.7	90.7
そ の 他	30	26	3.6	4.8	2.9	4.6

資料 「衛生行政報告例」（2年毎に実施）

(8) 歯科技工士

平成20年末現在の就業届出数は450人で、前回の平成18年末に比べて24人の減少である。人口10万対では40.9（全国27.7）で、全国11位となっている。

就業先別にみた歯科技工士は表11のとおりで、技工所が231人（51.3%）で最も多く、次いで病院・診療所の215人（47.8%）となっている。

表11 就業先別歯科技工士数

区 分	実 数		構 成 割 合 (%)			
	18 年	20 年	18 年		20 年	
			県	全 国	県	全 国
総 数	474	450	100.0	100.0	100.0	100.0
技 工 所	246	231	51.9	66.7	51.3	68.3
病 院 ・ 診 療 所	224	215	47.3	31.7	47.8	30.3
そ の 他	4	4	0.8	1.6	0.9	1.4

資料 「衛生行政報告例」（2年毎に実施）

(9) その他の医療従事者

① 病院等医療施設で就業する医療関係者には、多くの種類があるが、前掲以外の技術者についての年次推移は表12のとおりである。

表12 診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士等の年次推移

年次	診療放射線技師	診療X線技師	臨床検査		理学療法士	作業療法士
			臨床検査技師	衛生検査技師		
昭和 47	82 (69)	24 (18)	124 (117)	26 (25)	16 (10)	2 (2)
50	101 (84)	25 (14)	161 (153)	22 (18)	15 (10)	3 (3)
53	126 (107)	16 (12)	236 (222)	18 (16)	20 (16)	7 (7)
56	196 (156)	10 (3)	321 (294)	28 (21)	30 (25)	6 (6)
59	203 (178)	26 (15)	376 (342)	26 (21)	41 (37)	19 (19)
62	241 (217)	22 (11)	414 (382)	17 (14)	81 (70)	40 (38)
平成 2	284 (255)	17 (11)	458 (409)	15 (9)	106 (92)	64 (57)
5	324 (278)	9 (5)	474 (402)	6 (6)	124 (110)	64 (55)
7	(305)	(4)	(417)	(4)	(119)	(64)
8	375 (323)	8 (4)	511 (422)	13 (4)	141 (124)	73 (64)
9	(327)	(5)	(429)	(4)	(125)	(66)
10	(337)	(2)	(429)	(0)	(127)	(70)
11	431 (343)	10 (2)	550 (425)	3 (0)	158 (140)	88 (79)
12	(354)	(2)	(433)	(1)	(147)	(108)
13	(363)	(3)	(430)	(1)	(171)	(120)
14	425(356.4)	15.5(3)	512.5(440.3)	18.6(1)	203.7(181.2)	134.4(123.4)
15	(360.2)	(2.1)	(439.1)	(1.0)	(193.4)	(137.4)
16	(373.2)	(2.2)	(442.4)	(1.0)	(206.3)	(158.3)
17	473.2(368.2)	9.8(2.3)	544.2(443.9)	1.0(1.0)	242.6(219.2)	175.7(164.2)
18	(382.5)	(1.1)	(441.5)	(1.1)	(242.8)	(181.2)
19	(396.2)	(1.0)	(448.5)	(1.8)	(227.9)	(208.7)
20	492.3 (390.9)	6.8 (—)	532.7 (437.5)	1.0 (1.0)	334.6 (307.4)	243.7 (229.1)

資料 「医療施設静態調査」(3年毎に実施)(()は内数で病院従事者である。)
「病院報告」(毎年実施)

(注) 1. 昭和58年までは各年末現在、59年からは10月1日現在
2. 平成13年までは実人員、平成14年からは常勤換算数

② あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等

平成20年末現在の就業届出数は、前回の平成18年末と比べ、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師は増加している。人口10万対では、柔道整復師が68.3（全国34.4）で、全国1位であるが、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師は、いずれも全国に比べて低くなっている。

表13 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等

区 分	実 数						率 (人口10万対)			
	18 年			20 年			18 年		20 年	
	目が見えるもの	目が見えないもの	計	目が見えるもの	目が見えないもの	計	県	全 国	県	全 国
あん摩マッサージ指圧師	351	73	424	358	68	426	38.2	79.1	38.7	79.8
はり師	357	41	398	346	44	390	35.9	63.7	35.4	67.5
きゅう師	356	40	396	347	43	390	35.7	62.6	35.4	66.3
柔道整復師	680		680	752		752	61.3	30.3	68.3	34.4

資料 「衛生行政報告例」 (2年毎に実施)

VI 保健統計主要指標

表1 人口動態の概要

平成20年

	実 数			率		全国 順位
	富山県	全 国		富山県	全 国	
出 生	8,709	1,091,156	人口千対	8.0	8.7	35 位
死 亡	11,635	1,142,407	人口千対	10.7	9.1	14 位
自 然 増 加	-2,926	-51,251	人口千対	-2.7	-0.4	35 位
乳 児 死 亡	25	2,798	出生千対	2.9	2.6	8 位
新 生 児 死 亡	8	1,331	出生千対	0.9	1.2	35 位
死 産	206	28,177	出産千対 1)	23.1	25.2	36 位
周 産 期 死 亡	35	4,720	出産千対 2)	4.0	4.3	32 位
婚 姻	5,275	726,106	人口千対	4.0	5.8	38 位
離 婚	1,679	251,136	人口千対	1.54	1.99	46 位

- 1) 出生に死産を加えたものである。
 2) 出生に妊娠満22週以後の死産を加えたものである。

表2 死因順位

平成20年

	富 山 県			全 国		
	順位	死 亡 率 (人口10万対)	死亡者総数に 占める割合 (%)	順位	死 亡 率 (人口10万対)	死亡者総数に 占める割合 (%)
悪 性 新 生 物	1位	318.6	29.8	1位	272.3	30.0
心 疾 患	2	140.7	13.2	2	144.4	15.9
脳 血 管 疾 患	3	137.9	12.9	3	100.9	11.1
肺 炎	4	123.8	11.6	4	91.6	10.1
不 慮 の 事 故	5	46.9	4.4	5	30.3	3.3
老 衰	6	32.2	3.0	6	28.6	3.1
自 殺	7	27.2	2.5	7	24.0	2.6
腎 不 全	8	21.0	2.0	8	17.9	2.0
大 動 脈 瘤 及 び 解 離	9	14.0	1.3	11	10.7	1.2
糖 尿 病	10	13.9	1.3	12	11.5	1.3

表3 人口動態総覧

年次	出生		死亡		自然増加		乳児死亡		新生児死亡		総数	
	実数	率 (人口千分)	実数	率 (人口千分)	実数	率 (人口千分)	実数	率 (出生千分)	実数	率 (出生千分)	実数	率 (出生千分)
大14	29,625	39.5	17,875	23.9	11,750	15.7	5,472	184.7	2,163	73.0	1,318	42.6
昭5	28,399	36.5	17,293	22.2	11,106	14.3	4,628	163.0	1,704	60.0	1,298	43.7
10	27,737	34.7	16,990	21.3	10,747	13.5	4,222	152.2	1,534	55.3	1,177	40.7
15	25,805	31.4	17,886	21.7	7,919	9.6	3,484	135.0	1,447	56.1	1,003	37.4
22	41,428	42.3	16,259	16.6	25,169	25.7	3,956	95.5	1,290	30.2
25	27,880	27.6	12,760	12.6	15,120	15.0	2,333	83.7	2,274	75.4
30	18,435	18.1	8,539	8.4	9,896	9.7	970	52.6	590	32.0	1,767	87.5
35	16,126	15.6	8,711	8.4	7,415	7.2	631	39.1	396	24.6	1,436	81.8
40	16,342	15.9	8,514	8.3	7,828	7.6	384	23.5	262	16.0	1,255	71.3
41	12,111	11.8	7,945	7.8	4,166	4.1	298	24.6	220	18.2	1,128	85.2
42	17,723	17.3	7,854	7.7	9,869	9.6	304	17.2	221	12.5	1,235	65.1
43	16,884	16.5	8,119	7.9	8,765	8.6	275	16.3	190	11.3	1,139	63.2
44	17,037	16.6	7,899	7.7	9,138	8.9	251	14.7	181	10.6	1,105	60.9
45	17,493	17.0	8,179	8.0	9,314	9.1	274	15.7	198	11.3	1,137	61.0
46	18,434	17.8	7,913	7.7	10,521	10.2	246	13.3	168	9.1	1,056	54.2
47	18,975	18.2	7,768	7.5	11,207	10.8	244	12.9	175	9.2	910	45.8
48	18,941	18.0	7,872	7.5	11,069	10.5	240	12.7	179	9.5	885	44.6
49	18,650	17.6	8,367	7.9	10,283	9.7	231	12.4	164	8.8	821	42.2
50	17,305	16.2	7,770	7.3	9,535	8.9	184	10.6	120	6.9	679	37.8
51	16,873	15.7	7,938	7.4	8,935	8.3	160	9.5	108	6.4	724	41.1
52	15,790	14.6	7,738	7.1	8,052	7.4	148	9.4	109	6.9	786	47.4
53	15,066	13.8	7,940	7.3	7,126	6.5	129	8.6	83	5.5	680	43.2
54	14,330	13.1	7,481	6.8	6,849	6.2	126	8.8	81	5.7	625	41.8
55	13,555	12.3	7,923	7.2	5,632	5.1	105	7.7	68	5.0	575	40.7
56	13,037	11.8	7,970	7.2	5,067	4.6	102	7.8	64	4.9	532	39.2
57	12,761	11.5	7,548	6.8	5,213	4.7	89	7.0	56	4.4	596	44.6
58	12,644	11.4	8,023	7.2	4,621	4.2	86	6.8	58	4.6	470	35.8
59	12,582	11.3	7,965	7.2	4,617	4.1	77	6.1	47	3.7	487	37.3
60	11,986	10.7	8,275	7.4	3,711	3.3	81	6.8	51	4.3	502	40.2
61	11,605	10.4	7,979	7.1	3,626	3.2	64	5.5	42	3.6	518	42.7
62	10,960	9.8	7,942	7.1	3,018	2.7	61	5.6	36	3.3	484	42.3
63	11,005	9.8	8,526	7.6	2,479	2.2	54	4.9	34	3.1	461	40.2
平元	10,286	9.2	8,403	7.5	1,883	1.7	63	6.1	43	4.2	393	36.8
2	10,050	9.0	8,641	7.7	1,409	1.3	63	6.3	38	3.8	392	37.5
3	9,996	8.9	8,715	7.8	1,281	1.1	40	4.0	21	2.1	368	35.5
4	9,887	8.9	9,044	8.1	843	0.8	58	5.9	41	4.1	344	33.6
5	9,701	8.7	9,153	8.2	548	0.5	49	5.1	27	2.8	317	31.6
6	10,227	9.1	9,108	8.1	1,119	1.0	44	4.3	23	2.2	293	27.9
7	10,049	9.0	9,552	8.5	497	0.4	52	5.2	33	3.3	256	24.8
8	10,272	9.2	9,187	8.2	1,085	1.0	48	4.7	27	2.6	298	28.2
9	10,139	9.1	9,519	8.5	620	0.6	41	4.0	27	2.7	319	30.5
10	10,117	9.0	9,765	8.7	352	0.3	43	4.3	28	2.8	287	27.6
11	10,139	9.1	10,213	9.1	-74	-0.1	35	3.5	17	1.7	318	30.4
12	10,170	9.1	9,734	8.7	436	0.4	42	4.1	25	2.5	288	27.5
13	9,994	9.0	9,780	8.8	214	0.2	31	3.1	17	1.7	286	27.8
14	9,854	8.9	9,723	8.8	131	0.1	32	3.2	24	2.4	308	30.3
15	9,362	8.4	10,494	9.5	-1,132	-1.0	29	3.1	18	1.9	266	27.6
16	9,396	8.5	10,396	9.4	-1,000	-0.9	26	2.8	17	1.8	279	28.8
17	8,973	8.1	10,861	9.9	-1,888	-1.7	29	3.2	14	1.6	233	25.3
18	8,965	8.2	10,963	10.0	-1,998	-1.8	24	2.7	17	1.9	248	26.9
19	8,728	8.0	11,194	10.2	-2,466	-2.3	27	3.1	15	1.7	233	26.0
20	8,709	8.0	11,635	10.7	-2,926	-2.7	25	2.9	8	0.9	206	23.1

[注] 1. 率算出の基礎人口は、国勢調査結果及び総務省統計局推計による。(ただし、昭41までは総人口、
2. 平成7年から、周産期死亡は妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。また、

富山県 年次別

死産				周産期死亡							婚姻		離婚		
自然死産		人工死産		総数		妊娠満28週以後の死産		妊娠満22週以後の死産		早期新生児死亡		実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)
実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)				
..	8,234	11.0	857	1.14
..	7,973	10.2	767	0.98
..	8,130	10.2	707	0.88
..	10,014	12.2	767	0.93
..	13,638	13.9	1,512	1.54
..	8,569	8.5	1,117	1.11
1,027	34.1	1,247	41.4	8,569	8.5	1,117	1.11
778	38.5	989	49.0	834	45.2	438	23.8	396	21.5	8,163	8.0	877	0.86
748	42.6	688	39.2	647	40.1	371	23.0	276	17.1	8,806	8.5	771	0.75
694	39.4	561	31.9	475	29.1	268	16.4	207	12.7	8,646	8.4	720	0.70
610	46.1	518	39.1	359	29.7	192	15.9	167	13.8	8,675	8.5	741	0.72
791	41.7	444	23.4	446	25.2	274	15.5	172	9.7	8,903	8.7	816	0.80
713	39.6	426	23.6	357	21.1	210	12.4	147	8.7	8,770	8.6	849	0.83
690	38.0	415	22.9	351	20.6	213	12.5	138	8.1	9,190	8.9	822	0.80
766	41.1	371	19.9	414	23.7	250	14.3	164	9.4	9,571	9.3	823	0.80
728	37.4	328	16.8	371	20.1	235	12.7	136	7.4	9,950	9.6	819	0.79
642	32.3	268	13.5	323	17.0	176	9.3	147	7.7	9,825	9.4	910	0.87
654	33.0	231	11.7	330	17.4	186	9.8	144	7.6	9,324	8.9	978	0.93
609	31.3	212	10.9	313	16.8	185	9.9	123	6.9	8,653	8.2	971	0.92
483	26.9	196	10.9	239	13.8	137	7.9	102	5.9	7,970	7.5	972	0.91
494	28.1	230	13.1	229	13.6	148	8.8	81	4.8	7,440	6.9	1,034	0.96
553	33.4	233	14.1	221	14.0	127	8.0	94	6.0	6,897	6.4	1,005	0.93
466	29.6	214	13.6	194	12.9	128	8.5	66	4.4	6,566	6.0	1,021	0.94
436	29.2	189	12.6	199	13.9	125	8.7	74	5.2	6,533	6.0	982	0.90
399	28.2	176	12.5	140	10.3	88	6.5	52	3.8	6,292	5.7	1,016	0.92
331	24.4	201	14.8	113	8.7	67	5.1	46	3.5	6,248	5.7	1,098	0.99
407	30.5	189	14.1	125	9.8	78	6.1	47	3.7	6,234	5.6	1,094	0.99
327	24.9	143	10.9	127	10.0	84	6.6	43	3.4	6,140	5.5	1,250	1.13
315	24.1	172	13.2	107	8.5	69	5.5	38	3.0	5,792	5.2	1,191	1.07
268	21.5	234	18.7	84	7.0	45	3.8	39	3.3	5,861	5.2	1,073	0.95
278	22.9	240	19.8	83	7.2	56	4.8	27	2.3	5,683	5.1	1,052	0.94
269	23.5	215	18.8	74	6.8	46	4.2	28	2.6	5,533	4.9	1,044	0.93
232	20.2	229	20.0	71	6.5	42	3.8	29	2.6	5,584	5.0	1,063	0.95
230	21.5	163	15.3	66	6.4	35	3.4	31	3.0	5,514	4.9	1,021	0.91
225	21.5	167	16.0	52	5.2	25	2.5	27	2.7	5,409	4.8	1,086	0.97
184	17.8	184	17.8	41	4.1	26	2.6	15	1.5	5,549	5.0	1,051	0.94
191	18.7	153	15.0	63	6.4	38	3.8	25	2.5	5,798	5.2	1,182	1.06
175	17.5	142	14.2	44	4.5	23	2.4	21	2.2	6,106	5.5	1,143	1.02
163	15.5	130	12.4	46	4.5	31	3.0	15	1.5	6,113	5.5	1,221	1.09
..	(出生千対)
147	14.3	109	10.6	77	7.6	55	5.4	22	2.2	6,167	5.5	1,217	1.09
159	15.0	139	13.2	66	6.4	48	4.7	18	1.8	6,245	5.6	1,284	1.15
174	16.6	145	13.9	63	6.2	47	4.6	16	1.6	6,177	5.5	1,354	1.21
136	13.1	151	14.5	53	5.2	37	3.6	16	1.6	6,354	5.7	1,541	1.38
178	17.0	140	13.4	61	6.0	50	4.9	11	1.1	6,202	5.5	1,667	1.49
142	13.6	146	14.0	60	5.9	40	3.9	20	2.0	6,307	5.7	1,727	1.55
142	13.8	144	14.0	48	4.8	38	3.8	10	1.0	6,203	5.6	1,888	1.70
147	14.5	161	15.8	50	5.1	31	3.1	19	1.9	5,958	5.4	1,838	1.65
132	13.7	134	13.9	45	4.8	32	3.4	13	1.4	5,631	5.1	1,910	1.72
145	15.0	134	13.9	51	5.4	36	3.8	15	1.6	5,579	5.0	1,786	1.61
123	13.4	110	11.9	36	4.0	28	3.1	8	0.9	5,355	4.9	1,735	1.58
141	15.3	107	11.6	61	6.8	48	5.3	13	1.5	5,342	4.9	1,768	1.61
134	15.0	99	11.0	42	4.8	36	4.1	6	0.7	5,184	4.7	1,674	1.53
103	11.6	103	11.6	35	4.0	29	3.3	6	0.7	5,275	4.8	1,679	1.54

昭42以降は日本人人口)

周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は、出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

表4 死因順位

死亡数・死亡率(人口10万対) 富山県 年次別

	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
昭25	胃炎	1,558	154.4	結核	1,476	146.3	脳卒	1,406	139.3	肺炎	1,158	114.8	がん	904	89.6
30	脳卒	1,452	142.2	がん	1,031	101.0	心臓	674	66.0	老衰	586	57.4	肺炎	555	54.4
35	脳卒	1,921	186.0	がん	1,124	108.8	心臓	829	80.3	肺炎	682	66.0	老衰	578	56.0
40	脳卒	2,233	217.9	がん	1,272	124.1	心臓	869	87.4	老衰	489	47.7	事故	479	46.7
45	脳卒	2,105	204.8	がん	1,423	138.4	心臓	998	97.1	事故	525	51.1	肺炎	420	40.9
50	脳卒	2,022	189.1	がん	1,645	153.9	心臓	995	93.1	肺炎	450	42.1	事故	390	36.5
55	がん	1,904	172.8	脳卒	1,815	164.7	心臓	1,300	118.0	肺炎	481	43.6	事故	368	33.4
60	がん	2,154	193.0	脳卒	1,559	139.7	心臓	1,425	127.7	肺炎	607	54.4	事故	375	33.6
平2	がん	2,391	214.0	心臓	1,556	139.2	脳卒	1,338	119.7	肺炎	1,009	90.3	事故	414	37.0
7	がん	2,653	237.4	脳卒	1,667	149.2	心臓	1,339	119.8	肺炎	978	87.5	事故	504	45.1
8	がん	2,720	243.1	脳卒	1,430	127.8	心臓	1,347	120.4	肺炎	840	75.1	事故	482	43.1
9	がん	2,801	250.3	脳卒	1,538	137.4	心臓	1,317	117.7	肺炎	977	87.3	事故	483	43.2
10	がん	2,928	261.7	脳卒	1,457	130.2	心臓	1,397	124.8	肺炎	998	89.2	事故	479	42.8
11	がん	2,992	267.6	脳卒	1,511	135.2	心臓	1,433	128.2	肺炎	1,067	95.4	事故	500	44.7
12	がん	2,856	256.4	脳卒	1,447	129.9	心臓	1,377	123.6	肺炎	994	89.2	事故	482	43.3
13	がん	2,936	263.8	心臓	1,404	126.1	脳卒	1,349	121.2	肺炎	966	86.8	事故	485	43.6
14	がん	3,035	273.2	脳卒	1,334	120.1	心臓	1,283	115.5	肺炎	910	81.9	事故	535	48.2
15	がん	3,096	279.2	脳卒	1,502	135.4	心臓	1,351	121.8	肺炎	1,078	97.2	事故	509	45.9
16	がん	3,125	282.3	脳卒	1,414	127.7	心臓	1,356	122.5	肺炎	1,125	101.6	事故	497	44.9
17	がん	3,188	289.5	心臓	1,508	136.9	脳卒	1,471	133.6	肺炎	1,196	108.6	事故	493	44.8
18	がん	3,154	287.2	心臓	1,539	140.2	脳卒	1,418	129.1	肺炎	1,276	116.2	事故	506	46.1
19	がん	3,292	301.2	心臓	1,506	137.8	脳卒	1,449	132.6	肺炎	1,288	117.8	事故	452	41.4
20	がん	3,466	381.6	心臓	1,531	140.7	脳卒	1,500	137.9	肺炎	1,347	123.8	事故	510	46.9

(注) 死因 がん=悪性新生物 事故=不慮の事故
 脳卒=脳血管疾患 老衰=精神病の記載のない老衰
 心臓=心疾患 胃炎=胃腸炎

表5 平均余命

富山県

		昭40	45	50	55	60	平2	7	12	17
男	0歳	66.70	69.18	71.11	73.27	74.81	76.14	77.16	78.03	79.07
	1	67.47	69.30	70.97	72.96	74.35	75.60	76.58	77.37	78.32
	2	66.69	68.41	70.08	72.07	73.45	74.68	75.65	76.40	77.32
	3	65.83	67.50	69.16	71.14	72.49	73.73	74.67	75.42	76.33
	4	64.93	66.58	68.22	70.18	71.52	72.76	73.72	74.43	75.35
	5	64.02	65.65	67.26	69.21	70.56	71.78	72.75	73.45	74.36
	10	59.26	60.84	62.44	64.33	65.67	66.85	67.83	68.52	69.42
	15	54.38	55.94	57.52	59.40	60.73	61.88	62.86	63.57	64.46
	20	49.66	51.23	52.75	54.60	55.89	57.05	58.01	58.70	59.57
	25	45.09	46.62	48.09	49.86	51.15	52.30	53.19	53.87	54.78
	30	40.47	41.98	43.37	45.05	46.36	47.49	48.36	49.06	49.98
	35	35.86	37.37	38.65	40.28	41.56	42.65	43.50	44.25	45.16
	40	31.35	32.85	33.99	35.59	36.84	37.88	38.69	39.47	40.40
	45	26.90	28.42	29.47	30.95	32.20	33.20	33.96	34.80	35.72
	50	22.56	23.98	25.07	26.54	27.74	28.66	29.40	30.21	31.10
	55	18.54	19.75	20.82	22.27	23.50	24.30	25.01	25.84	26.68
	60	14.85	15.89	16.87	18.20	19.45	20.23	20.83	21.66	22.48
	65	11.56	12.49	13.23	14.46	15.56	16.36	16.93	17.79	18.42
	70	8.77	9.59	10.16	11.06	11.96	12.76	13.27	14.19	14.67
	75	6.52	7.15	7.57	8.22	8.79	9.61	10.03	10.93	11.37
80	4.88	5.46	5.48	5.94	6.44	6.93	7.26	8.04	8.43	
85	3.96	4.28	4.12	4.34	4.56	5.04	5.18	5.82	6.09	
90				3.02	3.71	3.69	3.73	4.21	4.31	
95						2.70	2.59	3.28	2.93	
女	0歳	72.04	74.78	76.56	78.93	80.80	82.35	83.86	85.24	86.32
	1	72.70	74.77	76.29	78.47	80.21	81.75	83.20	84.48	85.54
	2	71.89	73.90	75.44	77.59	79.27	80.79	82.23	83.52	84.57
	3	70.98	73.00	74.49	76.65	78.30	79.83	81.26	82.54	83.58
	4	70.06	72.05	73.53	75.69	77.32	78.85	80.27	81.55	82.60
	5	69.14	71.09	72.57	74.71	76.33	77.86	79.28	80.56	81.61
	10	64.29	66.20	67.65	69.81	71.40	72.91	74.31	75.59	76.65
	15	59.39	61.30	62.72	64.83	66.42	67.96	69.35	70.63	71.69
	20	54.51	56.40	57.84	59.92	61.50	63.04	64.42	65.72	66.75
	25	49.77	51.60	52.97	55.02	56.64	58.14	59.51	60.82	61.83
	30	45.06	46.83	48.13	50.15	51.75	53.27	54.59	55.90	56.94
	35	40.34	42.06	43.31	45.30	46.89	48.41	49.71	51.02	52.06
	40	35.66	37.34	38.56	40.50	42.07	43.57	44.88	46.12	47.20
	45	31.06	32.67	33.86	35.74	37.31	38.79	40.09	41.30	42.38
	50	26.62	28.12	29.25	31.07	32.61	34.07	35.36	36.60	37.64
	55	22.33	23.74	24.76	26.51	27.98	29.45	30.74	31.96	33.01
	60	18.22	19.51	20.43	22.08	23.50	24.90	26.17	27.41	28.47
	65	14.35	15.53	16.34	17.77	19.17	20.47	21.68	22.99	23.97
	70	10.94	11.97	12.57	13.78	15.08	16.23	17.42	18.70	19.57
	75	8.16	8.96	9.28	10.21	11.36	12.34	13.45	14.65	15.48
80	5.94	6.62	6.75	7.42	8.22	8.94	9.91	11.02	11.71	
85	4.59	4.68	5.08	5.14	5.78	6.24	7.08	8.03	8.43	
90				3.59	4.07	4.22	4.95	5.79	5.96	
95						2.77	3.72	4.51	4.25	

資料 「都道府県別生命表」

VII 医務課関係団体一覧 (平成21年6月1日現在)

団体名	郵便番号	所在地・電話番号	主要役員名	目的・業務内容	会員数
富山県医師会	939-8222	富. 蛭川336 Tel.429-4466	長・福田 孜 副・岩城 勝英 〃・泉 良平 〃・笠島 眞	医道の高揚、医学医術の発達普及及び公衆衛生の向上を図る。	1,599人
富山県歯科医師会	930-0887	富. 五福字五味原 2741-2 Tel.432-4466	長・吉田 季彦 副・山 安仁 〃・安田 篤	歯科技術の発達普及及び公衆衛生の向上を図る。	530人
富山県鍼灸マッサージ師会	930-0009	富. 神通町1-2-6 Tel.441-8986	長・中野 邦雄 副・羽馬 澄夫 〃・宮西 和男	はり術、灸術、あん摩術の高揚、その発達普及と公衆衛生の向上を図り社会福祉を促進する。	233人
富山県柔道整復師会	930-0096	富. 舟橋北町3-7 Tel.433-8621	長・高崎 光雄 副・林 豊輝 〃・竹林 直 〃・稲葉 司 〃・吉村 英男	接骨指導の高揚・学術の研究、発達、普及を図り、社会福祉に寄与することを目的とする。	638人
富山県療術師会	939-0317	射. 池多790 Tel.0766-56-1883	長・酒井 雅宣 副・中林 大樹 〃・稲澤 由美	療術に関する学理の究明および普及を図り、もって県民の健康の保持推進に寄与する。	42人
富山県歯科技工士会	930-0002	富. 新富町2-5-22 Tel.441-9364	長・二谷 定雄 副・松崎 政憲 〃・山口 武敏 〃・黒田 文彦	歯科技工技術の進歩、発達をめざし、会員の道義的、学術的水準の向上を図る。	137人
富山県歯科衛生士会	930-0085	富. 丸の内1-8-15 余川ビル3F Tel.442-8020	長・精田紀代美 副・荒木千加子	富山県の口腔衛生と歯科衛生の向上を図る。	138人
富山県放射線技師会	930-0975	富. 西長江2-2-78 県立中央病院内 Tel.424-1531	長・松倉 昭芳 副・満間 啓二 〃・長田 孝光	放射線技師の進歩、発展を目ざし、会員の道義的、学術的水準の向上を図る。	430人
富山県臨床衛生検査技師会	939-8222	富. 蛭川336 県医師会館内 Tel.429-4309	長・宮本 藤之 副・今村 伸一 〃・柴田 正信 〃・長谷川孝裕	臨床衛生検査の学術、技術の研鑽、向上を図り、もって医療、公衆衛生の向上に寄与する。	517人
富山県看護協会	930-0885	富. 嶋島宇川原 1907-1 Tel.433-5680	長・三谷 順子 副・吉居 富美子 〃・松井 三重子	看護師等の資質の向上と県民の福祉の向上を図るために研修や看護サービスを行う。	7,159人
日本理学療法士協会富山県士会	936-0023	滑. 柳原149-9 富山医療福祉 専門学校内 Tel.476-1716	長・塚本 彰 副・田村 茂 〃・島倉 聡	県内の理学療法士の人格、倫理及び学術技能を研鑽し、理学療法の普及発展を図り、地域保健、医療、福祉の向上に資する。	418人
富山県作業療法士会	936-0023	滑. 柳原149-9 富山医療福祉 専門学校内 Tel.476-0707	長・田村 良子 副・早川 俊秀	県内の作業療法士の研鑽、作業療法の普及を図り、地域医療、福祉の向上に資する。	406人
富山県言語聴覚士協会	931-8517	富. 下飯野36 高志リハビリ病院内 Tel.438-2233(内347)	長・中野 徹 副・西田 勇人 〃・高嶋 尚子	県内の言語聴覚士の研鑽、言語聴覚の普及を図り、地域医療、福祉の向上に資する。	104人

団 体 名	郵便番号	所在地・電話番号	主要役員名	目的・業務内容	会員数
富 山 県 臨 床 工 学 技 士 会	930-0194	富. 杉谷2630 富山大学附属病院内 Tel.434-2281 (内7760)	長・高道 昭一 副・森田 猛 〃・宮野 勝利	臨床工学技士の職業倫理を高揚するとともに、学術技能の研鑽及び資質の向上に努め、県民の福祉、医療の普及発展に寄与する。	88人
財 全 国 病 院 理 学 療 法 協 会 富 山 県 支 部	933-0014	高. 野村945-7 Tel.(0766)24-8498	長・梅本 直明 副・平井 政喜 〃・湯浅 喜八郎	理学療法に関する学術技能の向上を図る。	46人
富 山 県 医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー 協 会	930-0194	富. 杉谷2630 富山大学附属病院内 Tel.434-7798	長・岩田 大史 副・竹内 嘉伸 〃・藤川 泰永	医療と健康福祉の諸制度の有効適切な活用、医療社会事業に従事する職員の資質の向上を図る。	202人
財 日 本 助 産 師 会 富 山 県 支 部	936-0875	滑. 中塚413 Tel.475-1366	長・吉橋 和子 副・井上 まさ代 〃・水井 雅子	開業助産師の資質と母子保健の向上を図るための活動を行う。	135人
財 全 国 自 治 体 病 院 協 議 会 富 山 県 支 部	930-0975	富. 西長江2-2-78 富山県立中央病院内 Tel.424-1531	長・飯田 博行	経営及び管理運営に関する情報の交換、大対策等を協議し、公的病院としての健全な発展を期する。	13病院
富 山 県 自 治 体 病 院 開 設 者 協 議 会	930-8501	医 務 課 内	長・石井 一 副・森 雅志 〃・魚津 龍一	自治体病院の使命を達するため、必要な活動を行うことにより、住民の医療を確保する。	10自治体
財 富 山 県 腎 臓 バ ン ク	930-0194	富. 杉谷2630 富山大学内 Tel.436-6130	長・片山 喬	腎臓提供者の登録、腎臓あっせん等を行うことにより、腎臓移植を推進し、県民の健康・福祉の向上を図る。	
財 富 山 県 ア イ バ ン ク	930-0194	富. 杉谷2630 富山大学内 Tel.434-5710	長・高田 眞	眼球提供者の登録、眼球のあっせん等を行うことにより、角膜移植を推進して失明者の視力回復を図り、県民の健康・福祉の向上を図る。	
富 山 大 学 し ら ゆ り 会	930-0194	富. 杉谷2630 富山大学内 Tel.434-2281	長・横澤 隼人	解剖医学に不可欠な遺体を献体予約により提供を図り、医学の発展と地域医療の向上を図る。	

1. 医師会地区組織（法人）

団体名	郵便番号	所在地	電話番号	主要役員名	会員数
（併）下新川郡医師会	937-0866	魚津市本町1-4-27 医師会館	(0765) 22-0318	長・池田 一郎 副・中川 彦人	100名
（併）魚津市医師会	937-0866	〃	〃	長・大城 道雄 副・井出 克樹 〃・榑崎 繁喜	61
（併）滑川市医師会	939-0056	滑川市田中新町130-5 医師会館	(076) 475-8311	長・林 義則 副・稲生 暁春 〃・石坂伸太郎	47
（併）中新川郡医師会	930-0361	中新川郡上市町湯上野8	(076) 473-1881	長・池田 正 副・梅沢 良昭	42
（併）富山市医師会	939-8087	富山市大泉町2-11-20 医師会館	(076) 425-4114	長・馬瀬 大助 副・山田 祐司 〃・島田 一彦 〃・宮本 正俊	723
（併）射水市医師会	939-0351	射水市戸破1032-3	(0766) 56-6005	長・大角 誠治 副・矢野 博明 〃・佐野 正登	104
（併）高岡市医師会	933-0816	高岡市二塚355-1	(0766) 25-7060	長・長谷田祐一 副・亀谷 富夫 〃・宮島 久仁 〃・稲尾 次郎	321
（併）氷見市医師会	935-0023	氷見市朝日丘2-32 氷見市農協会館内	(0766) 72-2135	長・嶋尾 正人 副・佐藤 英敏	46
（併）砺波医師会	939-1386	砺波市幸町6-4	(0763) 32-5271	長・高橋 卓朗 副・山本 郁夫	84
（併）小矢部市医師会	932-0027	小矢部市法楽寺1800-1	(0766) 67-3208	長・松岡 宗里 副・宮元 進 〃・桜井 泉	37
特定非営利活動法人 南砺市医師会	939-1732	南砺市荒木1550 南砺市福光庁舎別館4階	(0763) 53-2510	長・森田 嘉樹 副・倉地 圓 〃・佐伯 俊雄	46

※（併）射水郡医師会は、平成20年3月4日から（併）射水市医師会に名称変更（区域も射水郡から射水市に変更）。
 ※（併）新湊市医師会は平成20年3月31日解散。

2. 歯科医師会地区組織（法人）

団体名	郵便番号	所在地	電話番号	主要役員名	会員数
（併）富山市 歯科医師会	939-8081	富山市堀川小泉町 1-9-26	(076) 424-8020	長・小林 憲夫 副・水野 隆俊	210名
（併）高岡市 歯科医師会	933-0045	高岡市本丸町7-1	(0766) 24-0303	長・岩 弘治 副・後藤 健	99名

VIII 医務課関係表彰一覧

表 彰 名	実 施 主 体	対 象															
<p>春秋叙勲・褒章</p> <p>春 4 月 29 日</p> <p>秋 11 月 3 日</p>	国	<ul style="list-style-type: none"> ・叙勲 I 類……保健衛生等の領域において格段の功績があった者 (70歳以上) [医療団体・病院の長、公衆衛生関係医師 等] ・叙勲 II 類……①精神的肉体的に著しく労苦の多い環境において業務に (55歳以上) 精励した者 [放射線技師、伝染病や精神関係の看護師 等] <li style="padding-left: 20px;">②人目につきにくい分野にあって多年にわたり業務に 精励した者 [施設の看護師、へき地の助産師 等] ・藍綬褒章……保健衛生等の分野の事業に関し、公共の福祉等を増進し、 (65歳以下) 優れた事績を上げた者 ・黄綬褒章……保健衛生等の業務に精励し、他の模範と認められる者 (20年以上従事) <p>※ 厚生部推薦枠 (民生・衛生)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">叙勲 I 類</th> <th style="width: 15%;">叙勲 II 類</th> <th style="width: 15%;">藍綬褒章</th> <th style="width: 15%;">黄綬褒章</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>秋</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	叙勲 I 類	叙勲 II 類	藍綬褒章	黄綬褒章	春	2	2	1	—	秋	2	2	—	1
区 分	叙勲 I 類	叙勲 II 類	藍綬褒章	黄綬褒章													
春	2	2	1	—													
秋	2	2	—	1													
死 亡 叙 勲	国	<p>叙勲 I 類の基準を満たす者で、死亡の日にさかのぼって叙勲される。 (既に受けている場合は叙位)</p>															
知事表彰 (県功労) 11 月 3 日	富 山 県	<p>医療の分野において、富山県の発展に著しく寄与、又は県民の福祉の増進に多大に功労があった者、その他広く県民の模範となる者で個人又は団体を表彰する。[厚生部推薦枠 12個人・団体]</p>															
知 事 表 彰 (部 門 功 労)	富 山 県	<p>厚生 (医療) 部門において、富山県の発展に寄与、又は県民の福祉の増進に功績があり、広く県民の模範となるもので個人を表彰する。(関係団体の総会等で厚生部長から表彰)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年……①富山県医師会 (2名) 6月 (定例代議員会) <li style="padding-left: 20px;">②富山県看護協会 (5名) 5月 (看護の日イベント) <li style="padding-left: 20px;">③富山県歯科医師会 (1名) 3月 (定例代議員会) ・記念年……他の関係団体に対し、5年又は10年の記念大会等で、 1～5名を表彰 															
公衆衛生功労者 厚生労働大臣表彰	厚生労働省	<p>多年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著であり、その事業に携わる者の模範となる者で、健康増進、疾病予防、衛生教育等の個人及び団体を表彰する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個 人……公衆衛生従事20年以上で50歳以上 ・団 体……事業歴10年以上 															
厚生労働統計功労者 功 績 表 彰 (厚生労働大臣表彰・ 統計情報部長表彰)	厚生労働省	<p>厚生労働省所轄の統計調査の発展のために尽力し、その業績が特に顕著である個人又は団体を表彰する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個 人……地方公共団体の職員で厚生統計関係に10年以上従事し、 成績優秀な者、あるいは功績が顕著な者 (16年度1名) ・団 体……人口動態・保健統計及び社会統計の2部門に区別して 当該部門の事務を正確かつ迅速に遂行し、他の模範と 認められる都道府県または指定都市 (16年度富山県受賞) 															

表 彰 名	実施主体	対 象
救急医療功労者 厚生労働大臣表彰	厚生労働省	救急医療対策の推進等救急医療の確保に貢献した団体・個人を表彰する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 団 体・・・救急医療への貢献又はその普及啓蒙等により、救急医療に関する功績が顕著な郡市医師会、地方公共団体、病院、診療所その他保健医療関係団体 ・ 個 人・・・救急医療体制の整備に貢献するなど救急医療に関する功績が顕著な医師、看護師等保健医療関係者 (55歳以上)
歯科保健事業功労者 厚生労働大臣表彰	厚生労働省	多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のために著しい功績のあった個人及び市町村、民間組織等の団体を表彰する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個 人・・・50～70歳 団体・・・歯科保健事業を10年以上実施
そ の 他 の 厚生労働大臣表彰	厚生労働省	記念大会において、特に顕著な功績のあった者または団体を表彰する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 優良看護職員厚生労働大臣表彰 (18年度看護業務功労2名) 2. 診療放射線業務功労厚生労働大臣表彰 (18年度1名) 3. 柔道整復業務功労厚生大臣表彰 (19年度1名) 4. 鍼灸業務功労厚生大臣表彰 (60年度該当者なし) 5. 歯科技工士業務功労厚生大臣表彰 (18年度1名) 6. 歯科衛生士業務功労厚生大臣表彰 (18年度1名) 7. 理学及び作業療法業務功労厚生大臣表彰 (61年度該当者なし) 8. 臨床衛生検査業務功労厚生労働大臣表彰 (19年度1名) 9. あん摩、マッサージ、指圧、はりきゅう業務功労厚生大臣表彰 (9年度2名) 10. 歯科医師業務功労厚生大臣表彰 (元年度2名) 11. 保健所制度創立50周年記念厚生大臣表彰 (62年度1名) 12. 衛生研究所創立50周年記念厚生大臣表彰 (11年度1名) 13. 精神科看護業務功労厚生大臣表彰 (元年度該当者なし) 14. 優良助産師功労厚生労働大臣表彰 (18年度1名)
公衆衛生功労者 財日本公衆衛生協会 協会長表彰	財日本公衆衛生協会	多年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が顕著であり、その事業に携わる者の模範となるもので、健康増進、疾病予防、保健指導、衛生教育等の個人及び団体を表彰する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個 人・・・公衆衛生従事15年(県市町村職員にあっては10年)以上で50歳以上 ・ 団 体・・・事業歴10年以上
衛生教育奨励賞	財日本公衆衛生協会	衛生教育活動の普及と発展に資するため、優秀な事例に対して衛生教育奨励賞を授与する。[入選5～10選]
保 健 文 化 賞	第一生命保険相互会社 厚生労働省 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健衛生を実際に著しく向上させた団体、あるいは個人 ・ 保健衛生の向上に著しく寄与する研究又は発見をした団体、あるいは個人 ・ 個 人・・・50歳以上で業務歴10年以上 ・ 団 体・・・事業が10年以上にわたる実績があり、かつ将来も期待できる <p>※最近の本県受賞 魚津市(2年)、県食改協(59年)、 県歯科医師会(57年)、県食衛協(57年)、 朝日町(55年)、福光町(50年)</p>

表彰名	実施主体	対象
医療功労賞	読売新聞社 厚生労働省 エーザイ(株) 他	<p>困難な環境下で働いている医療従事者か、各地の専門医療施設で献身的な取り組みをしている医療従事者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へき地等で15年以上医療業務に従事し、将来も継続して職務を遂行し得るもの。 ・年齢は50歳以上 ・対象者は、医師、歯科医師、保健師、助産師等 ・表彰枠 県表彰 [各県2名程度]